Canon

レーザビームプリンタ

Satera

インテリジェントコントローラ NB-J2

ユーザーズガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

本書の構成について

第１章 お使いになる前に

第２章 インテリジェントコントローラの取り付け

第３章 SMS を使用する

第４章 SMS のいろいろな機能

第５章 MEAP-Lite システムの管理

第６章 困ったときには

第７章 付録

- 本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。
- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

目次

はじめに v

本書の読みかた v
マークについて v
キー・ボタンについて v
画面について vi
略称について vi

規制について viii
商標について viii
LEGAL NOTICES viii

第 1 章　お使いになる前に

こんなことができます 1-2

必要なシステム環境 1-5
印刷するときに必要なシステム環境 1-5
SMS を利用するときに必要なシステム環境 1-5

ネットワークで使用するために必要な作業 1-6

第 2 章　インテリジェントコントローラの取り付け

パッケージの内容を確認する 2-2

ケーブルを用意する 2-3

各部の名称と機能 2-4

インテリジェントコントローラを取り付ける 2-5

第 3 章　SMS を使用する

SMS を起動する前に（準備） 3-2
IP アドレスの設定 3-3
リモート UI による設定 3-4
プリンタの操作パネルによる設定 3-9
ARP/PING コマンドによる設定 3-10
ネットワークの設定 3-13
優先ネットワークを NB-J2 に設定する 3-16
リモート UI による設定 3-16
プリンタの操作パネルによる設定 3-19

テストページを印刷する 3-20
SMS の起動と終了 3-21
SMS の起動とログイン 3-21
SMS からのログアウト 3-25

第４章　SMS のいろいろな機能

アプリケーションのインストール 4-2
アプリケーションの開始と停止 4-6
アプリケーションを使用できる状態にする 4-6
アプリケーションを使用できない状態にする 4-9
アプリケーションのアンインストール 4-10
アプリケーションの詳細を確認／設定する 4-12
アプリケーションのライセンス設定 4-14
ライセンスファイルの追加 4-14
ライセンスファイルの無効化 4-19
無効化したライセンスファイルのダウンロード／削除 4-22
アプリケーションリストを印刷する 4-26
リモート UI からアプリケーションリストを印刷する 4-27
プリンタの操作パネルからアプリケーションリストを印刷する 4-30

第５章　MEAP-Lite システムの管理

システムアプリケーションのアンインストール 5-2
システムアプリケーションの開始と停止 5-4
システムアプリケーションの開始 5-4
システムアプリケーションの停止 5-6
システムアプリケーションのインストール 5-8
システム情報の確認 5-11
アプリケーション情報の確認 5-12
ライセンスファイルの確認 5-13
パスワードの変更 5-14
SSL 暗号化通信機能を設定する 5-16
SSL の有効と無効を切り替える 5-17
鍵と証明書を作成・登録・変更する 5-18
鍵と証明書を新規作成する 5-19
鍵と証明書ファイルをプリンタに登録する 5-27
鍵を使用鍵に設定する 5-32
証明書を確認・検証する 5-34
鍵と証明書を削除する 5-38

CA 証明書を登録・表示・検証する 5-39
CA 証明書を登録する 5-40
CA 証明書を確認・検証する 5-43
CA 証明書を削除する 5-47
HTTP/HTTPS ポート番号を設定する 5-49

第 6 章　困ったときには

エラーメッセージ一覧 6-2
［ログイン］ページに関するエラー 6-2
［アプリケーション一覧］ページに関するエラー 6-3
［インストール］ページに関するエラー 6-4
［ライセンス管理］ページに関するエラー 6-8
［拡張システムアプリケーション］ページに関するエラー 6-10
［ユーティリティ］ページに関するエラー 6-14
その他のトラブル 6-16
インテリジェントコントローラの設定項目を確認したいときは（拡張カードリストを印刷する） 6-18
インテリジェントコントローラを設定する 6-19

第 7 章　付録

インテリジェントコントローラの取り外し 7-2
ネットワーク設定項目一覧 7-4
ネットワーク設定に利用できるソフトウェア 7-5
ネットワーク設定の初期化 7-6
インテリジェントコントローラの初期化 7-7
ファームウェアを更新する 7-10
FTP サーバを設定する 7-14
主な仕様 7-15
ハードウェア仕様 7-15
ソフトウェア仕様 7-15
用語集 7-16
索引 7-19
ソフトウェアのバージョンアップについて 7-21
情報の入手方法 7-21
ソフトウェアの入手方法 7-21

はじめに

このたびは、キヤノン製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。インテリジェントコントローラ NB-J2 は、プリンタをネットワークに接続し、ネットワークプリンタとしてご使用いただくための製品です。

本書は、インテリジェントコントローラNB-J2 をプリンタに取り付ける方法やプリンタをネットワークに接続する方法、ネットワーク環境で印刷するためのソフトウェアのインストールについて説明しています。本書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、本書はお読みいただいた後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

⚠注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンについて

本書に記載されているキー・ボタンは、お使いの機種によって形状が異なる場合があります。

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：[キー名称]

  例：[オンライン]
  [リセット]

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

  例：[OK]
  [設定]

画面について

操作時にクリックするボタンの場所は、(丸) で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

また、本書で使用している画面中のアプリケーション名称、その他の情報は、すべて架空のものです。

1 [ログアウト] をクリックします。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 :	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP Home Edition 日本語版 :	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Professional 日本語版 :	Windows XP
Microsoft® Windows® operating system :	Windows
インテリジェントコントローラ NB-J2 :	インテリジェントコントローラ

インテリジェントコントローラ NB-J2：

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、MEAP-Lite、MEAP-Lite ロゴはキヤノン株式会社の商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Active Directory、Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Netscape、Netscape Communicator、Netscape Navigator は、Netscape Communications Corporation の商標です。

その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

LEGAL NOTICES

Copyright © 2000 The Legion Of The Bouncy Castle (http://www.bouncycastle.org)

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (http://www.apache.org/) and is subject to the following terms and conditions.

The Apache Software License, Version 1.1
Copyright © 1999-2001 The Apache Software Foundation. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgement:

   "This product includes software developed by the Apache Software Foundation (http://www.apache.org/)."

   Alternately, this acknowledgement may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgements normally appear.
4. The names "The Jakarta Project", "Commons", and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
5. Products derived from this software may not be called "Apache" nor may "Apache" appear in their names without prior written permission of the Apache Group.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>.

This product includes software (the "Software") developed by Sun Microsystems, Inc. ("Sun"). Your use of the Software shall be subject to the followings:

a. Restrictions. Software is confidential copyrighted information of Sun and title to all copies is retained by Sun and/or its licensors. Software shall not be modified, decompiled, disassembled, decrypted, extracted, or otherwise reverse engineered. Software may not be leased, assigned, or sublicensed, in whole or in part.
b. Export Regulations. Software, including technical data, is subject to U.S. export control laws, including U.S. Export Administration Act and its associated regulations, and may be subject to export or import regulations in other countries. You agree to comply strictly with all such regulations and acknowledges that it has the responsibility to obtain licenses to export, re-export, or import Software. Software may not be downloaded, or otherwise exported or re-exported (i) into, or to a national or resident of, Cuba, Iraq, Iran, North Korea, Libya, Sudan, Syria or any country to which the U.S. has embargoed goods; or (ii) to anyone on the U.S. Treasury Department's list of Specially Designate Nations or the U.S. Commerce Department's Table of Denial Orders.
c. Restricted Rights. Use, duplication or disclosure by the United States government is subject to the restrictions as set forth in the Rights in Technical Data and Computer Software Clauses in DFARS 252.227-7013(c) (1) (ii) and FAR 52.227-19(c) (2) as applicable.

Trademarks

Canon and the Canon logo are trademarks of Canon Inc.
Sun, Sun Microsystems, the Sun Logo, and Java are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the United States and other countries.
Other products and company names herein may be the trademarks of their respective owners.

1 CHAPTER

お使いになる前に

この章では、対応しているネットワーク環境の確認やネットワークで使用するために必要な作業の概要など、お使いになる前に知っていただきたいことについて説明しています。

こんなことができます 1-2

必要なシステム環境 1-5

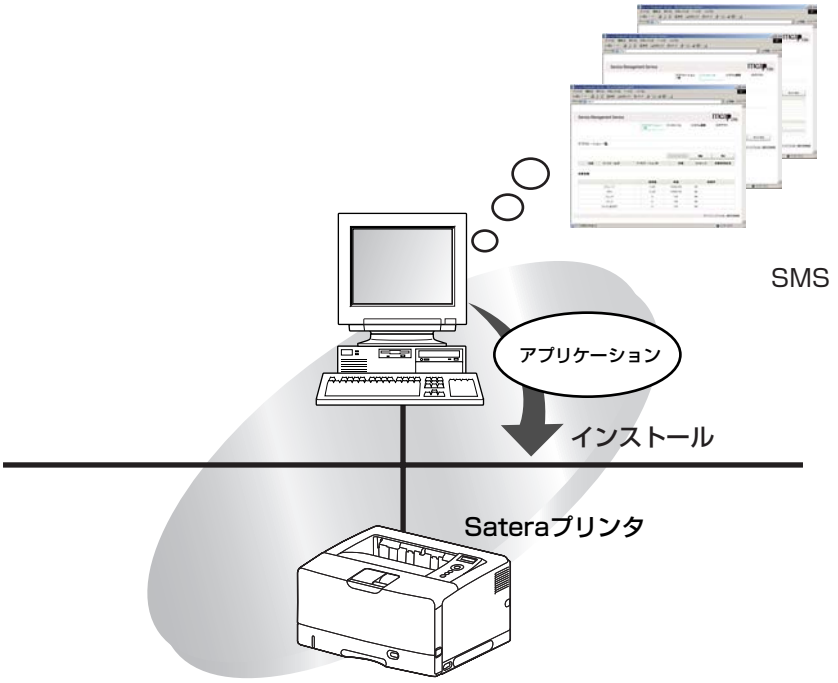
印刷するときに必要なシステム環境 1-5

SMS を利用するときに必要なシステム環境 1-5

ネットワークで使用するために必要な作業 1-6

こんなことができます

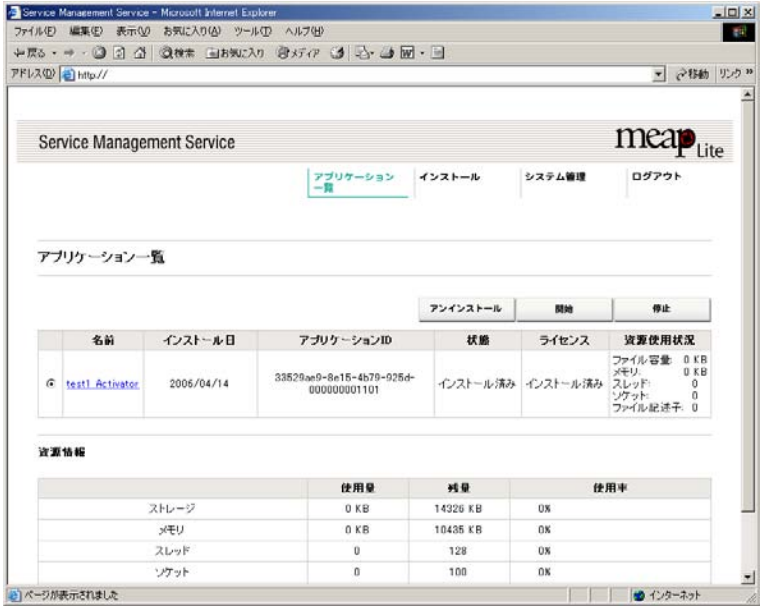
SMS（Service Management Service）は、お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、MEAP-Lite アプリケーションのインストールや管理などを行うことができるソフトウェアです。SMS を使用するためのソフトウェア（Web サーバ）は本製品に内蔵されていますので、Web ブラウザ以外のソフトウェアを用意する必要はありません。ネットワーク上のプリンタがパソコンとつながっていれば、SMS を使うことができます。SMS を使って以下のようなことができます。



■ ネットワーク上のパソコンからプリンタの MEAP-Lite アプリケーション情報を確認することができます

SMS は、ネットワーク経由でプリンタにアクセスして、インストールされているアプリケーションの状況や各種情報を表示させることができます。

SMS を起動し、［ログイン］ページでパスワードを入力してログインすると、次のようなトップページが表示されます。



アプリケーション一覧	［アプリケーション一覧］ページに移動するときにクリックします。 ［アプリケーション一覧］ページには、プリンタにインストールされている MEAP-Lite アプリケーションの状況などが表示されます。
インストール	［インストール］ページに移動するときにクリックします。 ［インストール］ページでは、MEAP-Lite アプリケーションのインストールを行うことができます。
システム管理	［システム管理］ページに移動するときにクリックします。 ［システム管理］ページでは、拡張システムアプリケーションのインストールなどを行うことができます。
ログアウト	SMS での作業を終了し、ログアウトするときにクリックします。クリックすると［ログイン］ページに移動します。

重要 Web ブラウザの［戻る］は使用しないでください。［戻る］を使用してページを移動すると、正しく動作しなくなることがあります。

■ **プリンタに MEAP-Lite アプリケーションをインストール／アンインストールすることができます**

プリンタ上で稼働する MEAP-Lite アプリケーションをパソコンからインストール／アンインストールすることができます。

重要 MEAP-Lite アプリケーションをインストールするには、ライセンスファイルが必要です。

■ **インストールした MEAP-Lite アプリケーションやライセンスファイルを更新することができます**

インストールしている MEAP-Lite アプリケーションのライセンスが失効した場合などに、再度インストールして更新することができます。

必要なシステム環境

本製品が対応しているシステム環境について説明しています。

印刷するときに必要なシステム環境

ネットワーク環境で使用して印刷するときは、以下のシステム環境が必要です。

■ 対応している OS

- Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
- Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版

重要　Windows 2000 をお使いのときは、Service Pack4 をインストールしてください。

■ 対応しているプロトコル

- TCP/IP

■ 対応しているコンピュータ

- IBM PC 機／その互換機、PC-98 シリーズ

SMS を利用するときに必要なシステム環境

SMS は、以下のシステム環境での動作を保証しています。

■ OS/ 対応ブラウザ

OS	対応ブラウザ
Windows 2000 Professional SP3	Microsoft Internet Explorer 5.5 SP2、 Microsoft Internet Explorer 6 SP1
Windows XP	Microsoft Internet Explorer 6、 Microsoft Internet Explorer 6 SP1

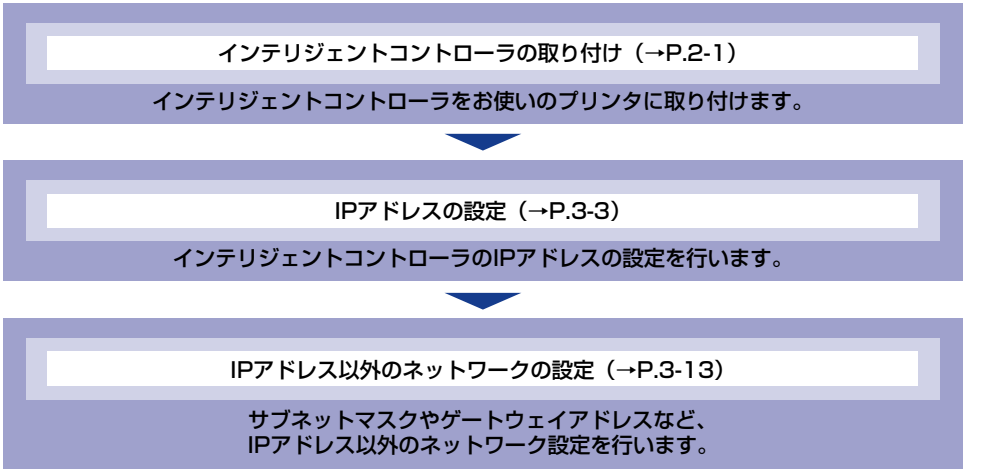
重要　ブラウザは以下のように設定されている必要があります。
・JavaScript が有効な状態になっている
・セッションごとの Cookie の使用が有効な状態になっている

メモ　Web サーバなど、上記以外のソフトウェアは必要ありません。（Web サーバは本製品に内蔵されています。）

ネットワークで使用するために必要な作業

ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

メモ　次の作業を行うと、印刷を行う各コンピュータが、直接ネットワークプリンタに印刷するようになります。ネットワーク上にプリントサーバを設定することで、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバの設定手順については、LIPS ソフトウェアガイド（PDF 取扱説明書）「第 2 章　Windows から印刷するには」のプリントサーバ環境のときの手順を参照してください。



ネットワークの設定が完了したら以下の項目を参照して、インテリジェントコントローラの設定および、コンピュータの設定を行います。

■ 優先ネットワークを NB-J2 に設定する（→P.3-16）

■ SMS を使用する

- SMS へのログイン（→P.3-21）
- アプリケーションの設定（→P.4-1）
- MEAP-Lite システムの管理（→P.5-1）

■ 印刷を行うコンピュータの設定

- プリントアプリケーションの選択（→ プリンタに付属の「ネットワークガイド／本編」（PDF 取扱説明書））
- プリンタドライバのインストール（→ プリンタに付属の「LIPS ソフトウェアガイド」（PDF 取扱説明書））

インテリジェントコントローラの取り付け

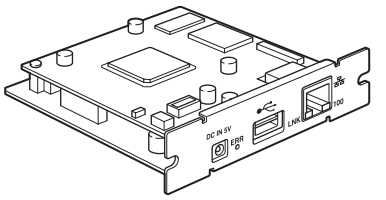
2
CHAPTER

この章では、インテリジェントコントローラの各部の名称と機能や取り付けかたなどについて、説明しています。

パッケージの内容を確認する 2-2
ケーブルを用意する 2-3
各部の名称と機能. 2-4
インテリジェントコントローラを取り付ける 2-5

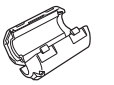
パッケージの内容を確認する

インテリジェントコントローラを取り付ける前に、パッケージに次のものがすべて揃っているかどうかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。



インテリジェントコントローラNB-J2

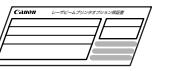
ネジ（2本）



フェライトコア

CD-ROM

設置時にお読みください



保証書

⚠注意
- インテリジェントコントローラを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- インテリジェントコントローラの取り扱いには注意してください。インテリジェントコントローラの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

重要 インテリジェントコントローラには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。

- 一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
- 作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
- インテリジェントコントローラの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 静電気の影響を避けるために、インテリジェントコントローラは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、保護袋はインテリジェントコントローラを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。

メモ 本製品には、LAN ケーブルは付属していません。本製品を装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、お使いのネットワークに合わせ、LAN ケーブルを別途ご用意ください。

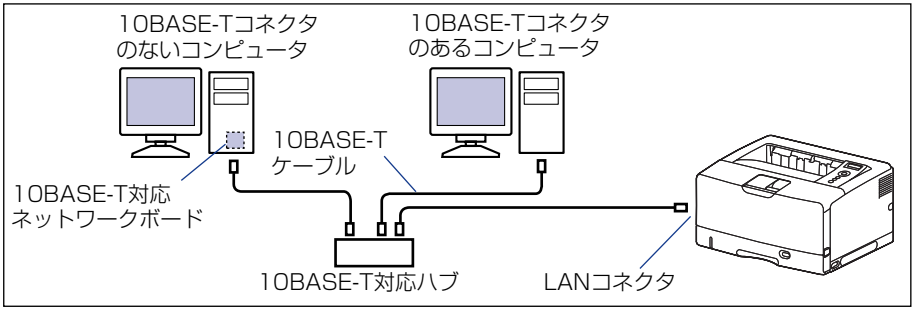
ケーブルを用意する

カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルで本プリンタをネットワークに接続することができます。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

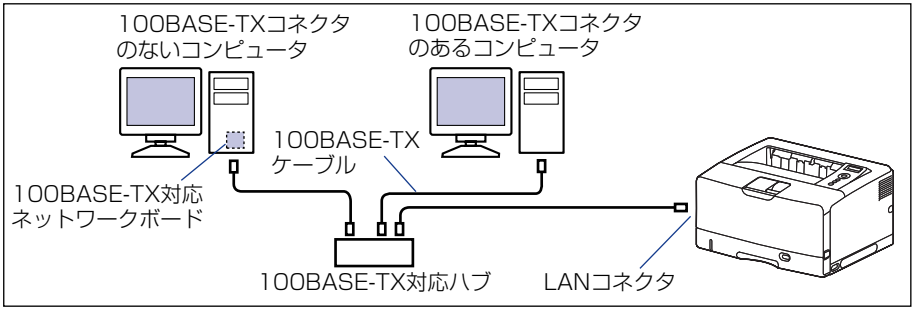
■ ネットワークの環境について

本製品は、10BASE-T/100BASE-TX 接続に対応しています。

- 10BASE-T Ethernet ネットワークに接続する場合



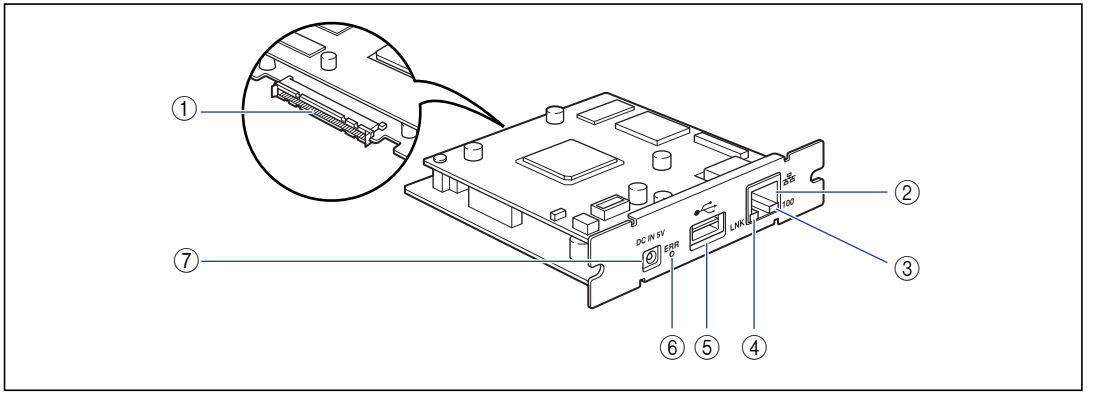
- 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合



重要
- 本製品は、上記以外のネットワークには接続できません。
- プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合は、ハブの増設が必要になります。

メモ 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合は、ハブや LAN ケーブル、コンピュータ用ネットワークボードなど、LAN に接続している機器は、すべて 100BASE-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、または「お客様相談センター」へお問い合わせください。

各部の名称と機能



① プリンタ接続コネクタ
プリンタと接続するコネクタです。コネクタには直接手を触れないでください。

② LAN コネクタ
10BASE-T/100BASE-TXのＬANケーブル接続部です。

③ 100 ランプ（緑色）
インテリジェントコントローラが100BASE-TXでネットワークに接続されているときに、点灯します。10BASE-T 接続の場合は、点灯しません。

④ LNK ランプ（緑色）
インテリジェントコントローラがネットワークに正しく接続されているときに、点灯します。

⑤ USB ホストコネクタ
USB 機器と接続するときのUSBケーブル接続部です。本コネクタから最大 200mA の電流を供給することが可能です。オプションの AC アダプタを使用した場合は、最大 500mA の電流を供給することができるようになります。

⑥ ERR ランプ（オレンジ色）
インテリジェントコントローラが正常に動作していないときに、点灯または点滅します。

⑦ DC ジャック
オプションの AC アダプタを接続するときの DC プラグ接続部です。接続する USB 機器の消費電流が200mA 以上の場合、オプションの AC アダプタを使用して USB 機器をお使いください。

インテリジェントコントローラを取り付ける

インテリジェントコントローラは、次の手順でプリンタ本体の拡張ボードスロットに取り付けます。インテリジェントコントローラの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

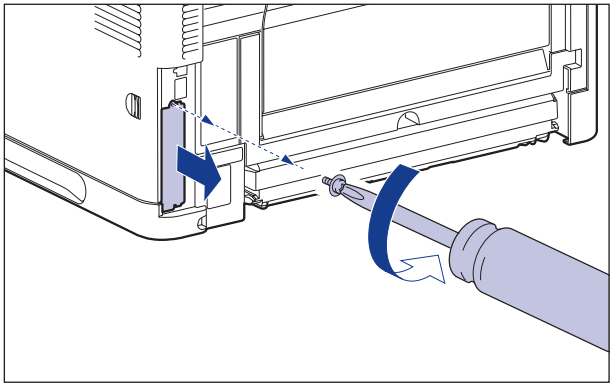
重要 手順中のイラストがお手持ちのプリンタと異なる場合があります。拡張ボードスロットの位置については、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

1 プリンタの電源をオフにしたあと、プリンタの電源コード、アース線を取り外します。

注意
- プリンタを移動するときは、プリンタに付属の取扱説明書の指示に従い、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に、給紙カセットなど、取っ手以外の部分を持たないでください。（プリンタを破損したり、落下してけがをする恐れがあります。）

重要
- インタフェースケーブルが取り付けられているときは、インタフェースケーブルも取り外します。
- インテリジェントコントローラの抜き差しは、必ず電源をオフにした状態で行ってください。電源をオンにしたままで基板を抜き差しすると、インテリジェントコントローラやプリンタを破損する恐れがあります。
- 作業に十分なスペースがない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動させてください。（→ プリンタに付属の取扱説明書）
- オプション品が装備されているときは、オプション品を取り外してください。（→ プリンタまたはオプション品に付属の取扱説明書）

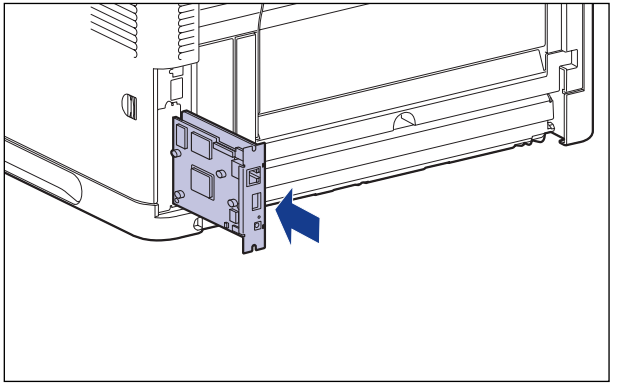
2 拡張ボードスロットのネジを外して、保護板を取り外します。



メモ　取り外した保護版とネジは、インテリジェントコントローラを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

3 インテリジェントコントローラを拡張ボードスロットに差し込みます。

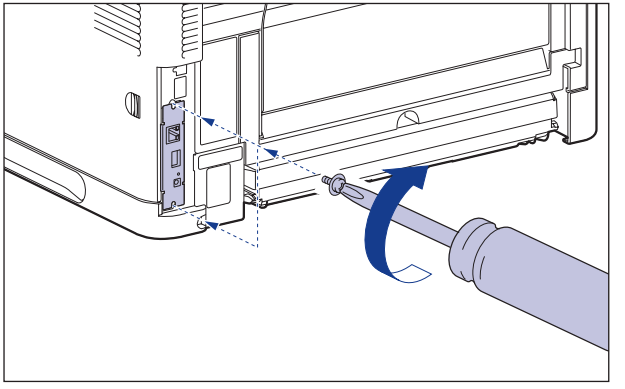
インテリジェントコントローラは、金属製のパネル部分を持ち、基板を拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。



重要
- 基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- インテリジェントコントローラのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

4 インテリジェントコントローラをネジで固定します。

インテリジェントコントローラの両端を、付属の 2 本のネジで固定します。



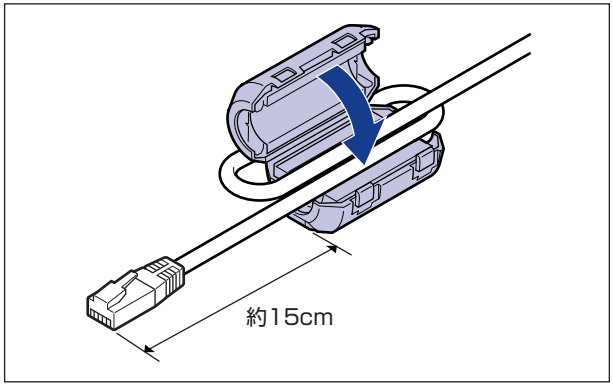
5 プリンタを移動したときは、元の位置へ戻します。

注意
- プリンタを移動するときは、プリンタに付属の取扱説明書の指示に従い、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に、給紙カセットなど、取っ手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損したり、落下してけがをする恐れがあります。

重要
- プリンタ本体は、プリンタに付属の取扱説明書の指示に従って持ち上げ、元の位置へ戻してください。(→ プリンタに付属の取扱説明書)
- オプション品が装備されているときは、取り外したオプション品を元の位置へ戻してください。(→ プリンタまたはオプション品に付属の取扱説明書)

6 図のように LAN ケーブルにフェライトコアを取り付けます。

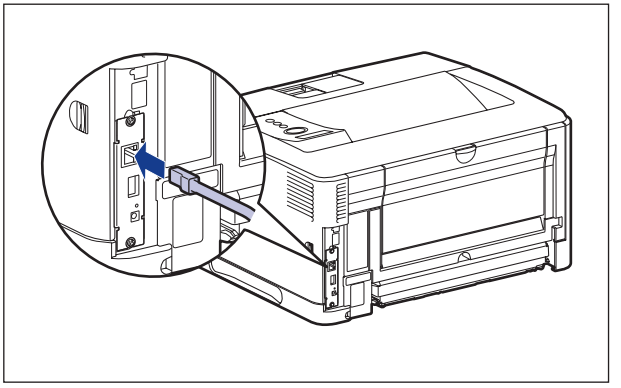
フェライトコアはプリンタに接続するコネクタの先端から約 15cm の場所に取り付けます。



メモ フェライトコアは、本製品に同梱されています。

7 LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、インテリジェントコントローラの LAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。



メモ　本製品には、LAN ケーブルは付属していません。本製品を装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、お使いのネットワークに合わせ、LAN ケーブルを別途ご用意ください。

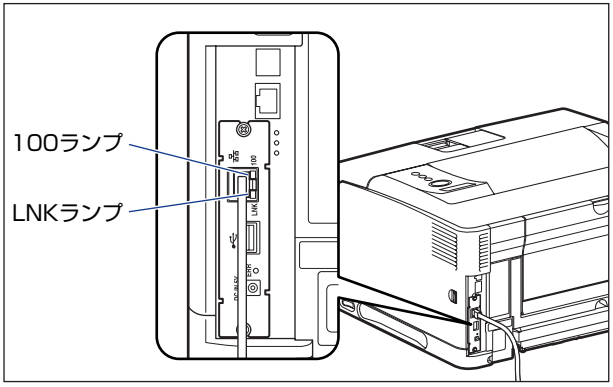
8 プリンタの電源コード、アース線を接続します。

重要　プリンタの電源コード、アース線の接続方法については、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

9 電源をオンにします。

10 インテリジェントコントローラのLNKランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-Tの場合は、LNKランプが点灯していれば正常です。
100BASE-TXの場合は、LNKランプと100ランプが点灯していれば正常です。



正常に動作していない場合はプリンタの電源をオフにし、LANケーブルの接続やハブの動作、インテリジェントコントローラの取り付け状態を確認してください。確認したあと、電源をオンにしても正常に動作しない場合は、「困ったときには」（→P.6-1）を参照してください。

インテリジェントコントローラの取り付けが完了しました。次に、ネットワークの設定を行ってください。（→P.3-13）

3 CHAPTER

SMS を使用する

この章では、ネットワークで使用するための設定方法や SMS の起動、終了について説明しています。

SMS を起動する前に（準備）. 3-2
IP アドレスの設定 3-3
ネットワークの設定 3-13
優先ネットワークを NB-J2 に設定する 3-16
テストページを印刷する. 3-20
SMS の起動と終了 3-21
SMS の起動とログイン 3-21
SMS からのログアウト 3-25

SMS を起動する前に（準備）

SMS を起動する前に、プリンタを起動して以下のことを行ってください。

■ ネットワーク設定

インテリジェントコントローラの IP アドレスを設定します（→IP アドレスの設定：P.3-3）。IP アドレスがわからないときは、システム管理者にご連絡ください。
また、IP アドレス以外のネットワーク設定が必要な場合は、「ネットワークの設定」（→P.3-13）を参照してネットワークの設定を行います。

■ 優先ネットワークの切り替え

プリンタにインテリジェントコントローラを取り付けると、プリンタに標準装備されているネットワークインタフェース（標準ネットワーク）と合わせ、ネットワークインタフェースが 2 つになります。2 つのインタフェースを同時に有効にすることができないため、どちらのインタフェースを使用するかを設定します。
工場出荷時には、標準ネットワークが有効になっているため、インテリジェントコントローラを使用するためには優先ネットワークの切り替えを必ず行ってください（→ 優先ネットワークを NB-J2 に設定する：P.3-16）。

重要

- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なりますので、ネットワーク管理者に相談してください。）
  - ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本製品の IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザで、クッキー（Cookie）、JavaScript が利用できるように設定していない場合は、SMS を使用することはできません。

IP アドレスの設定

インテリジェントコントローラとお使いのコンピュータが通信できるように、インテリジェントコントローラの IP アドレスを設定する必要があります。この作業は、以下のいずれかを使用して行います。

重要 プリンタ（標準ネットワーク）とインテリジェントコントローラのそれぞれに IP アドレスを割り当てることができます。「優先ネットワーク設定」を「NB-J2」に設定すると、インテリジェントコントローラに割り当てた IP アドレスが有効になります（→ 優先ネットワークを NB-J2 に設定する：P.3-16）。

■ リモート UI による IP アドレスの設定（→P.3-4）

リモート UI を使って IP アドレスを設定します。リモート UI は、お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、ネットワークの設定などが行えるソフトウェアです。

重要 リモート UI を使用する場合は、以下の状態であることが必要です。

- お使いのコンピュータとプリンタに標準の LAN コネクタが LAN ケーブルで接続されている
- プリンタの標準ネットワークの設定がされている（プリンタの標準ネットワークが使用できる）状態（→ プリンタに付属の「ネットワークガイド／本編」（PDF 取扱説明書））
- 「優先ネットワーク設定」が「標準ネットワーク」に設定されている（→ 優先ネットワークを NB-J2 に設定する：P.3-16）

メモ リモート UI の詳しい説明については、プリンタに付属の「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

■ プリンタの操作パネルによる IP アドレスの設定（→P.3-9）

プリンタの操作パネルを使って IP アドレスを設定します。

■ ARP/PING コマンドによる IP アドレスの設定（→P.3-10）

コマンドプロンプトを使用して IP アドレスを設定します。

重要 ARP/PING コマンドを使用する場合は、以下の状態であることが必要です。

- お使いのコンピュータとインテリジェントコントローラの LAN コネクタが LAN ケーブルで接続されている
- 「優先ネットワーク設定」が「NB-J2」に設定されている（→ 優先ネットワークを NB-J2 に設定する：P.3-16）

リモート UI による設定

リモート UI から IP アドレスを設定する場合は、以下の状態であることを確認してから行ってください。

- お使いのコンピュータとプリンタに標準のLAN コネクタがLANケーブルで接続されている
- プリンタの標準ネットワークの設定がされている（プリンタの標準ネットワークが使用できる）状態（→ プリンタに付属の「ネットワークガイド／本編」（PDF 取扱説明書））
- 「優先ネットワーク設定」が「標準ネットワーク」に設定されている（→ 優先ネットワークを NB-J2 に設定する：P.3-16）

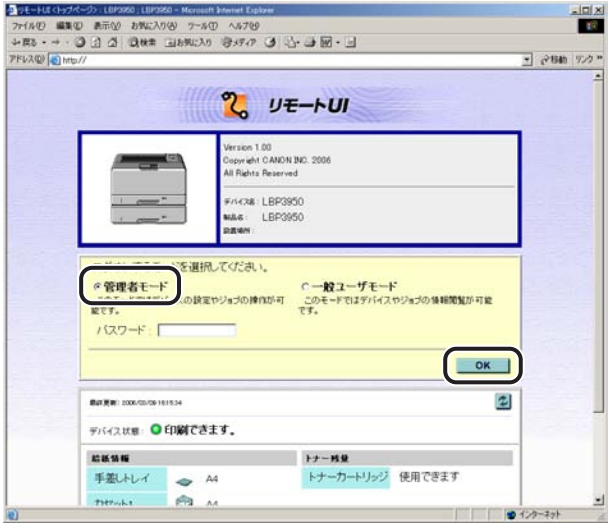
1 Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// ＜プリンタ（標準ネットワーク）の IP アドレスまたは名前＞ /

入力例：http://192.168.0.215/

メモ　リモート UI の詳しい説明については、プリンタに付属の「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

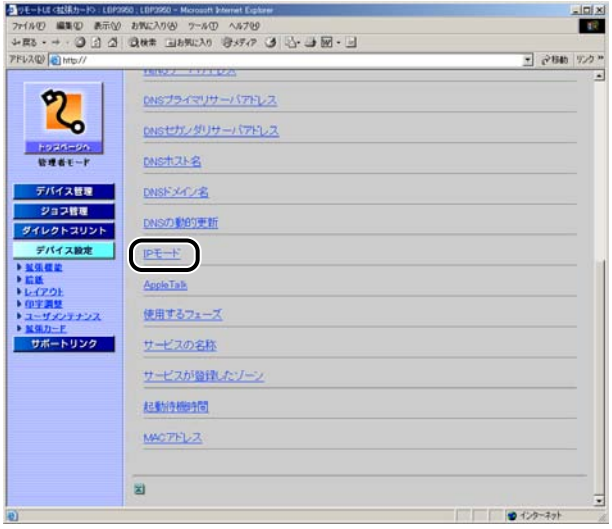
2 ［管理者モード］を選択したあと、［OK］をクリックします。



メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［OK］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の [デバイス設定] をクリックして、[拡張カード] をクリックします。

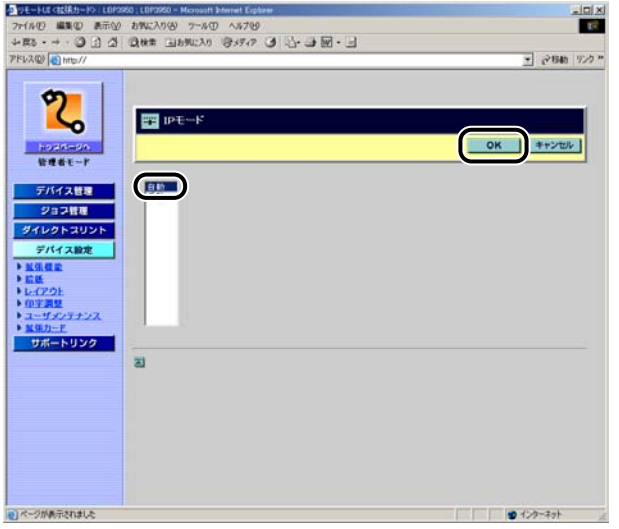
4 [NB-J2] → [カード設定] → [拡張カードネットワーク設定] → [IP モード] の順にクリックします。



5 IPアドレスの設定方法を選択します。

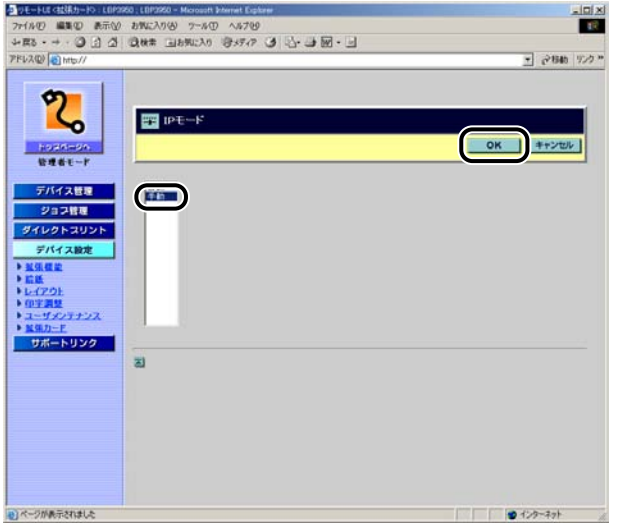
● DHCP、BOOTP、RARPのいずれかを使用してIPアドレスを設定する場合

❑ ［自動］を選択して、［OK］をクリックします。



● IPアドレスを直接割り当てる場合

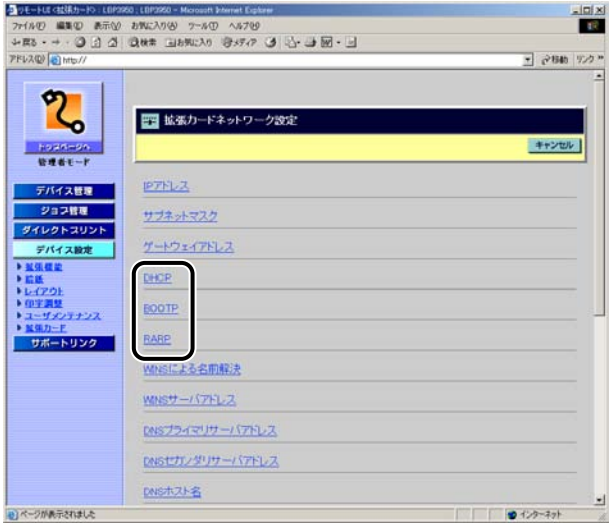
❑ ［手動］を選択して［OK］をクリックします。



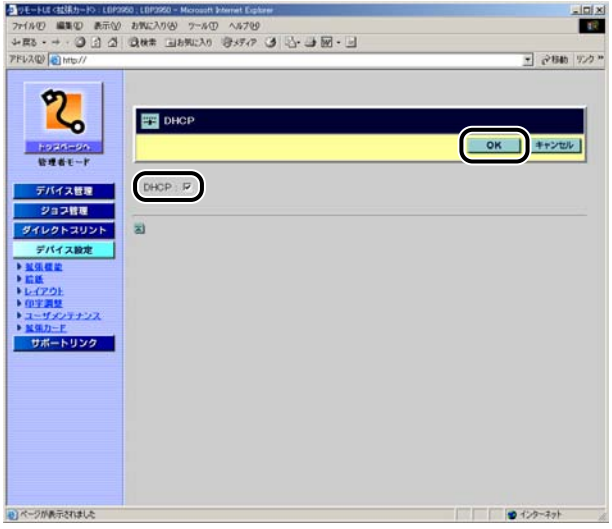
6 IPアドレスを設定します。

● 手順５で「自動」を選択した場合

❑ [DHCP]、[BOOTP]、[RARP] のいずれかをクリックします。



❑ チェックマークを付け、[OK] をクリックします。

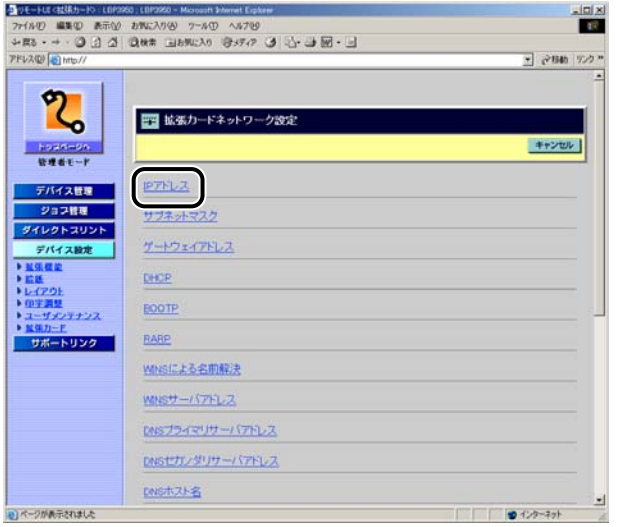


メモ
- [DHCP]、[RARP]、[BOOTP] は、いずれか１つのみ使用することができます。
- DHCP、RARP、BOOTP が使用可能かどうかのチェックは１～２分程度かかりますので、使用しない場合はチェックマークは付けないことをおすすめします。

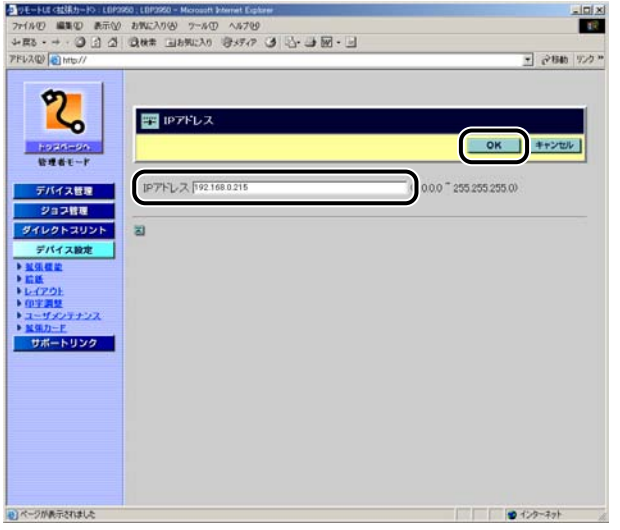
- DHCP、RARP、BOOTP を使用して IP アドレスを割り当てるには、DHCP サーバ、RARP デーモン、BOOTP デーモンが起動されている必要があります。
- DHCP を使用する場合、DNS の動的更新機能を使用しないときには、DHCP サーバで、常にインテリジェントコントローラに同じ IP アドレスが割り当てられるように設定しておくことをおすすめします（IP アドレスが同じでないと、インテリジェントコントローラのホスト名と IP アドレスを対応させることができません）。

● 手順５で「手動」を選択した場合

❑ [IP アドレス] をクリックします。



❑ [IP アドレス] を入力し、[OK] をクリックします。



これで IP アドレスの設定は完了しました。
IP アドレス以外のネットワーク設定を行う場合は、「ネットワークの設定」(→P.3-13) を行ってください。
IP アドレス以外のネットワーク設定を行わない場合は、「優先ネットワークを NB-J2 に設定する」(→P.3-16) を行ってください。

プリンタの操作パネルによる設定

重要
- メニューの階層を戻る場合は、[▲] を押してください。
- 操作パネルの設定手順の詳細については、プリンタに付属の「LIPS 機能ガイド」(PDF 取扱説明書) 巻末のメニュールートマップを参照してください。

1 [セットアップ] を押して、[◄]、[►] で「インタフェース」を選択したあと、[OK] を押します。

2 [◄]、[►] で「カクチョウカード」を選択して、[OK] を押します。

3 [◄]、[►] で「NB-J2」を選択して、[OK] を押します。

4 [◄]、[►] で「カードセッテイ」を選択して、[OK] を押します。

5 [◄]、[►] で「カクチョウネットワークセッテイ」を選択して、[OK] を押します。

6 [◄]、[►] で「IP モード」を選択して、[OK] を押します。

7 IP アドレスの設定方法を選択します。

● DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合
❑ [◄]、[►] で「ジドウ」を選択したあと、[OK] を押します。

● IP アドレスを直接割り当てる場合
❑ [◄]、[►] で「シュドウ」を選択したあと、[OK] を押します。

8 プリンタの IP アドレスを設定します。

● 手順 7 で「ジドウ」を選択した場合

❑ [◄]、[►] で「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」のいずれかを選択し、[OK] を押します。

❑ [◄]、[►] で「オン」を選択し、[OK] を押します。

メモ
- 「DHCP」、「RARP」、「BOOTP」は、いずれか 1 つのみ使用することができます。
- DHCP、RARP、BOOTP が使用可能かどうかのチェックは 1 ～ 2 分程度かかりますので、使用しない場合は「オフ」にすることをおすすめします。
- DHCP、RARP、BOOTP を使用して IP アドレスを割り当てるには、DHCP サーバ、RARP デーモン、BOOTP デーモンが起動されている必要があります。
- DHCP を使用する場合、DNS の動的更新機能を使用しないときには、DHCP サーバで、常にインテリジェントコントローラに同じ IP アドレスが割り当てられるように設定しておくことをおすすめします。(IP アドレスが同じでないと、インテリジェントコントローラのホスト名と IP アドレスを対応させることができません。)

● 手順 7 で「シュドウ」を選択した場合

❑ [◄]、[►] で「IP アドレス」を選択し、[OK] を押します。

❑ IP アドレスを入力し、[OK] を押します。

メモ 「IP アドレス」を入力するには、[◄]、[►] を押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた 3 桁分の領域）にカーソルを移動します。フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります。[▲] を押すと数値が増え、[▼] を押すと数値が減少します。すべてのフィールドの数値を入力したら、[OK] を押して確定します。

これで IP アドレスの設定は完了しました。
IP アドレス以外のネットワーク設定を行う場合は、「ネットワークの設定」(→P.3-13) を行ってください。
IP アドレス以外のネットワーク設定を行わない場合は、「優先ネットワークを NB-J2 に設定する」(→P.3-16) を行ってください。

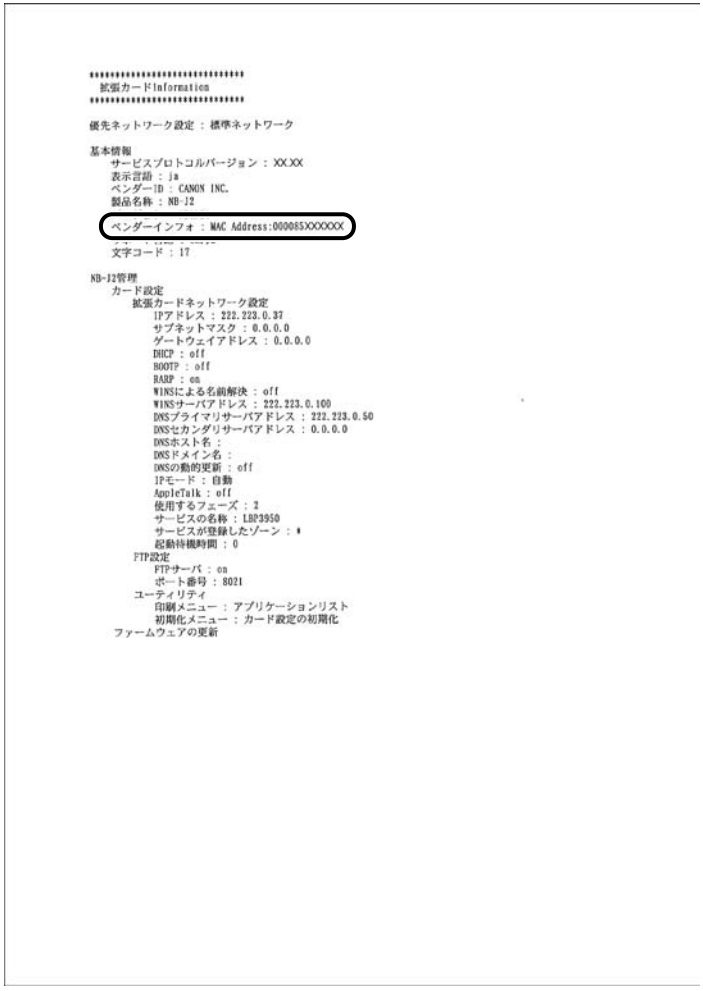
ARP/PING コマンドによる設定

ARP/PING コマンドから IP アドレスを設定する場合は、以下の状態であることを確認してから行ってください。

- お使いのコンピュータとインテリジェントコントローラの LAN コネクタが LAN ケーブルで接続されている
- 「優先ネットワーク設定」が「NB-J2」に設定されている（→ 優先ネットワークを NB-J2 に設定する：P.3-16）

重要 • ARP/PING コマンドによるプロトコル設定の準備では、プリンタのMACアドレスが必要になります。MAC アドレスを確認するには、プリンタの操作パネルで次の作業を行って拡張カードリストを印刷してください。

1. ユーティリティメニューを表示します。ユーティリティメニューの表示方法については、「LIPS 機能ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。
2. ［◄］、［►］で「カクチョウカードリスト」を選択したあと、［OK］を押します。MAC アドレスは拡張カードリストの［ベンダーインフォ］に表示されます。



• 作業を行う前に、プリンタがネットワークに接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

• ARP/PING コマンドを使用する場合、以下の作業ではプリンタに直接 IP アドレスを割り当てます。本プリンタは、プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定することもできます。プリンタの起動時またはリセット時は、DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかを調べ、最初に使用可能とわかった設定方法で IP アドレスを割り当てます。このときは、プリンタの IP アドレスは自動的に割り当てられますので、以下の作業を行う必要がありません。IP アドレスを割り当てなおすときや、DHCP、BOOTP、RARPが使用できないときは、以下の作業を行ってください。

1 コマンドプロンプトを起動します。

2 以下のコマンドを実行して、arp テーブルに静的なエントリを追加します。

arp（スペース）-s（スペース）< IP アドレス>（スペース）< MAC アドレス>

IP アドレス：　プリンタに割り当てる IP アドレスを指定します。「.」で区切られた 4 つの数字（0 ～ 255 の数字）で指定します。

MAC アドレス：　プリンタの MAC アドレスを指定します。2 桁ごとに「-」で区切って入力します。

入力例：　arp -s 192.168.0.215 00-00-85-3b-01-50

3 以下のコマンドを実行して、インテリジェントコントローラに IP アドレスを設定します。

ping（スペース）< IP アドレス>（スペース）-l（スペース）479

IP アドレス：　手順 2 で使用した IP アドレスと同じアドレスを指定します。

入力例：　ping 192.168.0.215 -l 479

メモ
• 「-l」の l は、アルファベットの l（エル）です。
• サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、[0.0.0.0] に設定されます。

これで IP アドレスの設定は完了しました。
IP アドレス以外のネットワーク設定を行う場合は、「ネットワークの設定」（→P.3-13）を行ってください。

ネットワークの設定

インテリジェントコントローラには、「IP アドレスの設定」(→P.3-3) で行った設定以外で、ネットワークに関する以下の設定を行うことができます。必要に応じて、リモート UI またはプリンタの操作パネルで設定してください。詳しい設定内容については、プリンタに付属の「ネットワークガイド／本編」(PDF 取扱説明書) を参照してください。

メモ　設定を行ったあとにハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおす必要があります。ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

■ TCP/IP に関する設定項目

※「拡張カード」→「NB-J2」→「カード設定」→「拡張カードネットワーク設定」で設定します。

設定項目	設定内容
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。
WINS による名前解決	WINS による名前解決機能を使用する場合に設定します。
WINS サーバアドレス	WINS サーバの IP アドレスを入力します。
DNS プライマリサーバアドレス	DNS プライマリサーバの IP アドレスを入力します。
DNS セカンダリサーバアドレス	DNS セカンダリサーバの IP アドレスを入力します。
DNS ホスト名	DNS サーバに登録するホスト名を設定します。
DNS ドメイン名	所属するドメイン名を入力します。
DNS 動的更新	DNS サーバへの動的更新機能を使用する場合に設定します。

■ AppleTalk に関する設定項目

※「拡張カード」→「NB-J2」→「カード設定」→「拡張カードネットワーク設定」で設定します。

設定項目	設定内容
Apple Talk	AppleTalkネットワーク上でプリンタを認識させるかさせないかの設定をします。
使用するフェーズ	使用するフェーズを設定します。
サービスの名称	プリンタの名称を入力します。ここで設定した名称が、Macintosh のセレクタやプリンタリストに表示されます。
サービスが登録したゾーン	ネットワーク上にゾーンが設定してある場合は、ゾーン名称を入力します。

■ その他の設定項目

※「拡張カード」→「NB-J2」→「カード設定」→「拡張カードネットワーク設定」で設定します。

設定項目	設定内容
起動待機時間	電源をオンにしてから、プロトコルが起動するまでの時間を設定します。
MAC アドレス	インテリジェントコントローラの MAC アドレスが確認できます。

■ 標準ネットワークと共有している（標準ネットワークで設定した内容と同じになる）設定項目

※これらの設定項目の詳しい説明については、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。なお、「*」が付いている設定項目は、お使いのプリンタによっては、表示されません。

• TCP/IP に関する設定項目

設定項目	設定内容
スコープ ID	スコープ ID を入力します。
ARP/PING	ARP/PING を使用するかどうかを設定します。
FTP 印刷	FTP 印刷を行うかどうかを設定します。
FTP 印刷ユーザ名	FTP サーバにログインするためのユーザ名を入力します。
FTP 印刷パスワード	FTP サーバにログインするためのパスワードを入力します。
FTP 設定	FTP クライアントによる設定をおこなうかどうかを設定します。
RAW 印刷	RAW 印刷を行うかどうかを設定します。
双方向	双方向通信を行うかどうかを設定します。
BMLinkS	BMLinkS を使用するかどうかを設定します。
Discovery 送信間隔	プリンタの機器情報をネットワークに送信する間隔を設定します。
設置場所情報	プリンタの設置場所についての情報を入力します。
IPP 印刷	IPP 印刷を行うかどうかを設定します。
IPPS（SSL）*	IPPS（IPP の通信データの SSL による暗号化）を使用するかどうかを設定します。
IPP 認証 *	IPP 認証機能を使用するかどうかを設定します。
IPP ユーザ名 *	IPP 認証で使用するユーザ名を入力します。
IPP パスワード *	IPP 認証で使用するパスワードを入力します。
HTTP	HTTP を使用するかどうかを設定します。

設定項目	設定内容
マルチキャスト探索応答	マルチキャストを使用した探索に応答するかどうかを設定します。
スコープ名	NetSpot Device Installer や NetSpot Console などのユーティリティソフトウェアからマルチキャストによる特定のデバイスの探索をするときに使用するスコープ名を入力します。
SNTP を使用	SNTPクライアント機能を使用して時刻情報を得る場合に設定します。
ポーリング間隔	NTP サーバへ時刻情報を問い合わせる間隔を設定します。
IP アドレス受信 / 印刷範囲設定	受信 / 印刷できるユーザ（クライアント）を IP アドレスで設定します。
IP アドレス設定 / 参照範囲設定	設定 / 参照できるユーザ（クライアント）を IP アドレスで設定します。

• SMB に関する設定項目

設定項目	設定内容
SMB	SMB ネットワークを使用するかどうかを設定します。
サーバ名 *	本プリンタが属するコンピュータ名を入力します。
ワークグループ名 *	本プリンタが属するワークグループ名を入力します。
コメント *	プリンタに関するコメントを入力します。
LM アナウンス *	本プリンタの存在を LAN Manager に通知する場合に設定します。

• リモート UI に関する設定項目

設定項目	設定内容
リモート UI	リモート UI を使用するかどうかを設定します。
SSL*	SSL 暗号化通信機能を使用するかどうかを設定します。

• その他の設定項目

設定項目	設定内容
SNMP を使用	SNMP プロトコルからのアクセスを許可するかどうかを設定します。
コミュニティ名	SNMP のコミュニティ名を入力します。
スプールを使用 *	印刷ジョブをプリンタにスプールするかどうかを設定します。

これでネットワークの設定は完了しました。
「優先ネットワークを NB-J2 に設定する」（→P.3-16）を行って優先ネットワークを「NB-J2」に設定します。
ただし、既に優先ネットワークが「NB-J2」に設定されている場合は、設定を変更する必要がありませんので、ネットワークの設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

優先ネットワークを NB-J2 に設定する

プリンタにインテリジェントコントローラを取り付けると、プリンタに標準装備されているネットワークインタフェース（標準ネットワーク）と合わせ、ネットワークインタフェースが 2 つになります。2 つのインタフェースを同時に有効にすることができないため、どちらのインタフェースを使用するかを設定します。

工場出荷時には、標準ネットワークが有効になっているため、インテリジェントコントローラを使用するためには優先ネットワークを「NB-J2」に設定します。

設定は、リモート UI またはプリンタの操作パネルを使用して行います。

重要 優先ネットワークを「NB-J2」に設定した状態で、インテリジェントコントローラをプリンタから取り外すと、優先ネットワークは「NB-J2」に設定されたままになっているため、プリンタに標準の LAN コネクタが使用できなくなります。インテリジェントコントローラをプリンタから取り外す場合は、あらかじめ優先ネットワークを「標準ネットワーク」に設定してから取り外してください。

リモート UI による設定

リモート UI から優先ネットワークを設定する場合は、以下の状態であることを確認してから行ってください。

- お使いのコンピュータとプリンタに標準のLAN コネクタがLANケーブルで接続されている
- プリンタの標準ネットワークの設定がされている（プリンタの標準ネットワークが使用できる）状態（→ プリンタに付属の「ネットワークガイド／本編」（PDF 取扱説明書））
- 「優先ネットワーク設定」が「標準ネットワーク」に設定されている

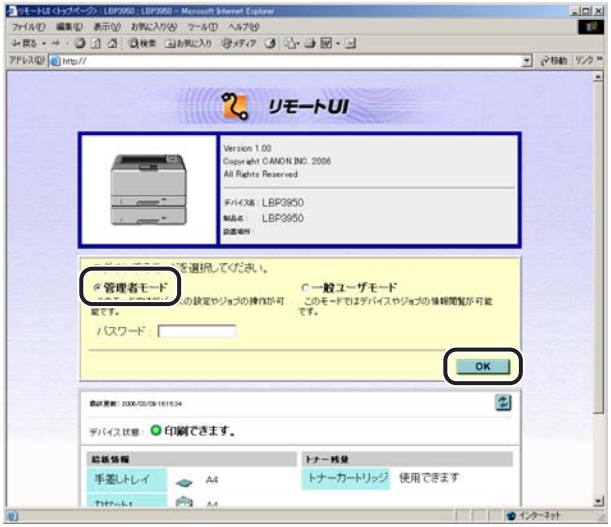
1 Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタ（標準ネットワーク）の IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

メモ リモート UI の詳しい説明については、プリンタに付属の「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

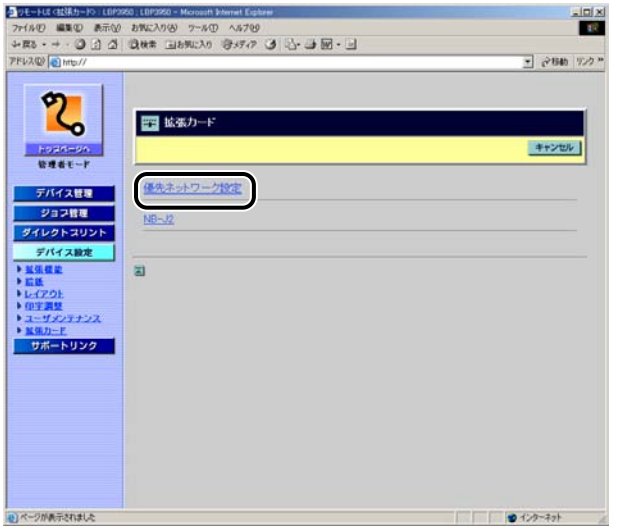
2 [管理者モード] を選択したあと、[OK] をクリックします。



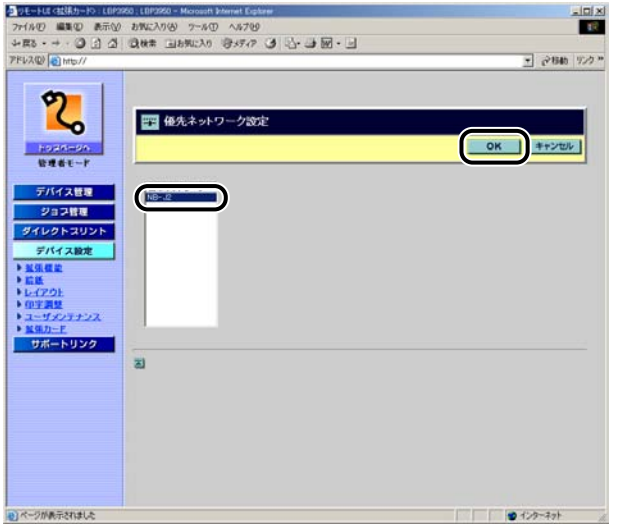
メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、[OK] をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の [デバイス設定] をクリックして、[拡張カード] をクリックします。

4 [優先ネットワーク設定] をクリックします。



5 [NB-J2] を選択して、[OK] をクリックします。



6 プリンタの電源をオフにします。

プリンタの再起動後に設定が有効になります。

7 プリンタに標準のLANコネクタからLANケーブルを抜き、インテリジェントコントローラのLAN コネクタに LAN ケーブルを接続します。

プリンタの操作パネルによる設定

1 [セットアップ] を押して、[◄]、[►] で「インタフェース」を選択したあと、[OK] を押します。

2 [◄]、[►] で「カクチョウカード」を選択して、[OK] を押します。

3 [◄]、[►] で「ユウセンネットワークセッテイ」を選択して、[OK] を押します。

4 [◄]、[►] で「NB-J2」を選択して、[OK] を押します。

5 ハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

メモ　ハードリセットの詳細については、プリンタに付属の「ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

テストページを印刷する

初めてインテリジェントコントローラをご使用になる前には、次の手順で必ずテストページを印刷して動作を確認してください。

重要 テストページを印刷するためには、プリンタドライバがお使いのコンピュータにインストールされている必要があります。プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタに付属の「LIPSソフトウェアガイド」(PDF取扱説明書)を参照してください。

メモ ここでは、Windows を例に説明します。

1 [プリンタとFAX] または [プリンタ] フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタと FAX] の順にクリックします。

2 本プリンタのアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。

3 [全般] ページの [テストページの印刷] をクリックします。

4 正しく印刷された場合は、[OK] または [はい] をクリックします。

テストページが正しく印刷されなかった場合は、「第 6 章困ったときには」を参照してください。

SMS の起動と終了

SMS を使用するには、ログインする必要があります。

重要 複数のユーザが SMS へ同時にログインすることはできません。

SMS の起動とログイン

重要

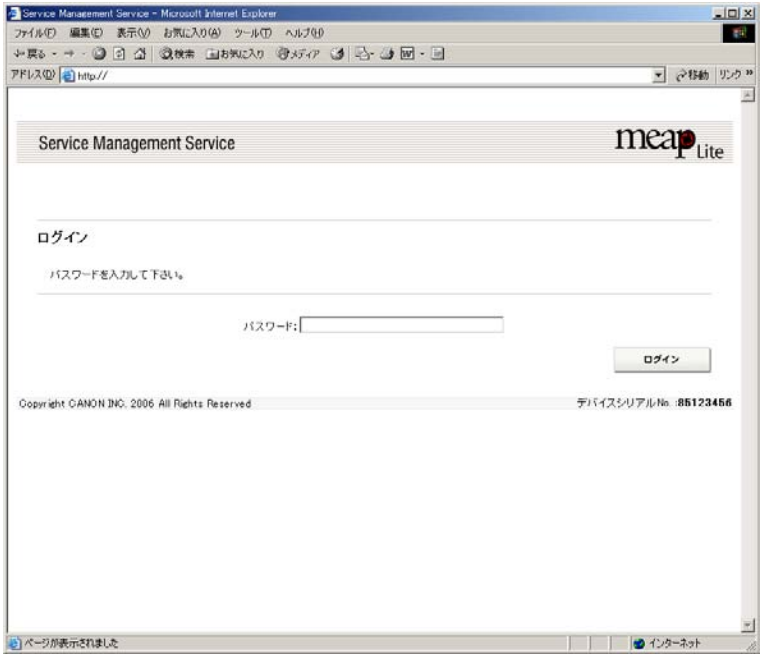
- 工場出荷時のパスワードは、「MeapSmsLogin」に設定されています（大文字と小文字の区別をします）。
- このパスワードは、プリンタに対して不正な操作が行われるのを防ぐためのものです。管理者以外の方にはお知らせしないようにしてください。
- 誤った使用を防ぐため、管理者の方はご使用を始めるときにパスワードを変更してください。パスワードを変更する場合は、「パスワードの変更」（→P.5-14）を参照してください。
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、SMS を使用することができなくなります。この場合は、ファイルシステムをフォーマットすることによって、SMS のログインパスワードを工場出荷時のパスワードに戻すことができます。ファイルシステムをフォーマットすると、プリンタにインストールされているアプリケーションやライセンスファイル、アプリケーションから作られたファイルシステム内に保存されているデータも削除されます。ファイルシステムのフォーマットについての詳細は、「インテリジェントコントローラの初期化」（→P.7-7）を参照してください。

1 Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// ＜プリンタ（インテリジェントコントローラ）の IP アドレスまたは名前＞：
＜ HTTP ポート番号＞ /sms/

入力例：http://192.168.0.215:8000/sms/

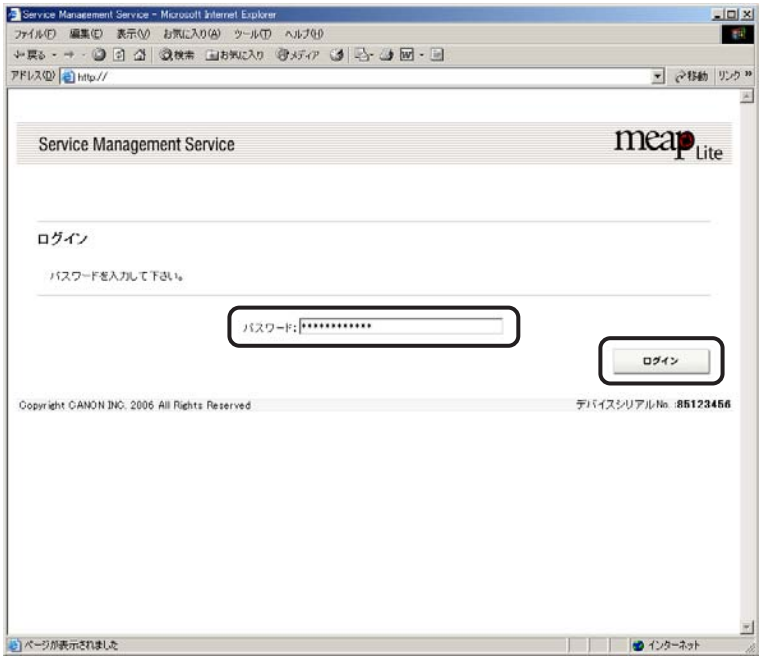
SSL による暗号化通信を利用して SMS にログインする場合は、「https:// ＜プリンタ（インテリジェントコントローラ）の IP アドレス＞：＜ HTTPS ポート番号＞ /sms/」を入力します。［セキュリティの警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。



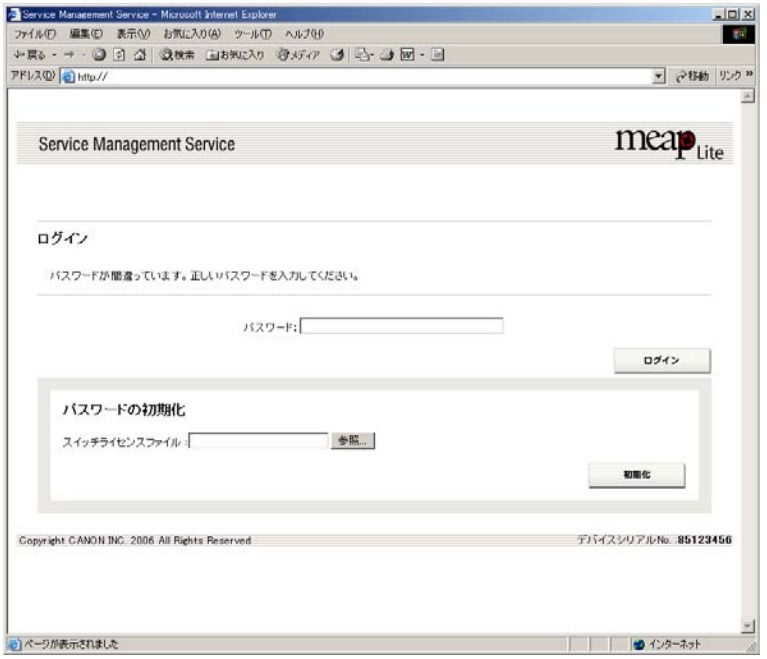
SMS の［ログイン］ページが表示されます。

メモ
- 工場出荷時のSMSのポート番号はHTTPポートが8000、HTTPSポートが8443に設定されています。SMS のシステム管理の設定で HTTP/HTTPS ポート番号が変更されている場合は、変更した HTTP/HTTPS ポート番号を入力してください。HTTP/HTTPS ポート番号がわからないときは、管理者に相談してください。
- デバイスシリアル No. が、画面右下に表示されます。デバイスシリアル No. は、ライセンス管理システムからライセンスファイルを取得するときに必要です。
- デバイスシリアル No. は、アプリケーションリストを印刷して確認することもできます。（→ アプリケーションリストを印刷する：P.4-26）

2 パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。



パスワードが正しくないためにログインできなかった場合は、パスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。



重要

- SMS を使用中に約 5 分以上アクセスしないとタイムアウトとなり、自動的にログアウトします。そのときは、［ログイン］ページから再度ログインします。
- ログインページを表示させてから約 5 分以内にログインしないと、正しいパスワードを入力してもログインすることができなくなります。画面に表示されるメッセージにしたがって、もう一度パスワードを入力してください。

SMS からのログアウト

1 [ログアウト] をクリックします。

[ログイン] ページが表示されます。

重要 SMS を終了するときは、必ずログアウトしてください。ログアウトせずに Web ブラウザを閉じると、SMS はしばらくのあいだ使用できなくなります。

SMS のいろいろな機能

4
CHAPTER

この章では、SMS によるアプリケーションのインストールやライセンス管理機能について説明しています。

アプリケーションのインストール 4-2
アプリケーションの開始と停止 4-6
アプリケーションを使用できる状態にする 4-6
アプリケーションを使用できない状態にする 4-9
アプリケーションのアンインストール 4-10
アプリケーションの詳細を確認／設定する 4-12
アプリケーションのライセンス設定 4-14
ライセンスファイルの追加 4-14
ライセンスファイルの無効化 4-19
無効化したライセンスファイルのダウンロード／削除 4-22
アプリケーションリストを印刷する 4-26
リモート UI からアプリケーションリストを印刷する 4-27
プリンタの操作パネルからアプリケーションリストを印刷する 4-30

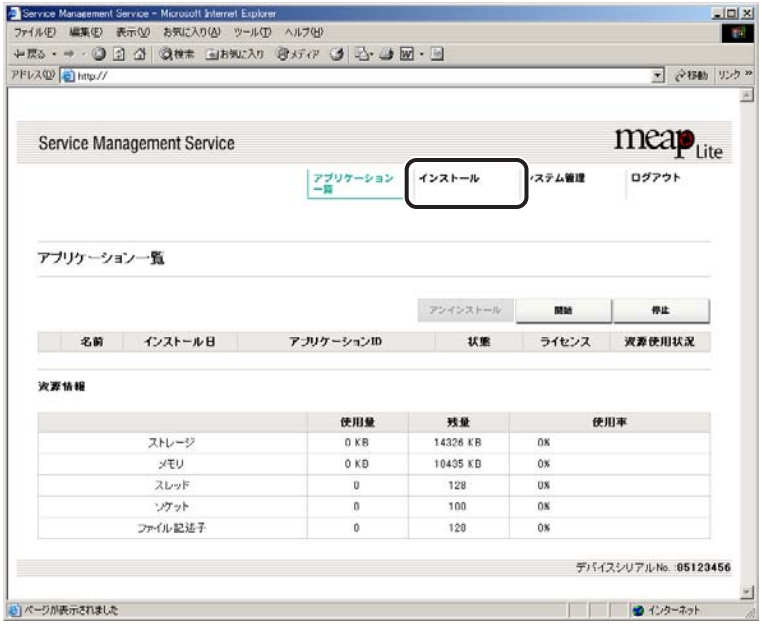
アプリケーションのインストール

MEAP-Liteアプリケーションとライセンスファイルをインストールします。

重要

- MEAP-Liteアプリケーションをインストールするには、有効なライセンスファイルが必要です。
  - ・お持ちのMEAP-Liteアプリケーションのパッケージにライセンスアクセス番号が記載されている場合は、以下のURLからライセンス管理システムにアクセスし、ライセンスファイルを取得してください。
    http://www.canon.com/meap/
    ライセンス管理システムにアクセス後、画面に表示される指示に従ってライセンスファイルを取得してください。ライセンスファイルを取得するには、ライセンスアクセス番号およびデバイスシリアルNo.（SMS画面上の右下に表示される番号）が必要です。
  - ・お持ちのMEAP-Liteアプリケーションのパッケージにライセンスアクセス番号が記載されていない場合は、MEAP-Liteアプリケーションの販売元からライセンスファイルが支給されます。詳細については、各MEAP-Liteアプリケーションの取扱説明書を参照してください。
- MEAP-Liteアプリケーションが使用できるストレージ領域は、最大約13MBまでです。
- 同時に使用可能な状態にできるアプリケーションの数は最大10個までです。
- MEAP-Liteアプリケーションが使用しているストレージ領域は、アプリケーション一覧ページに表示される資源情報の「ストレージ」で確認することができます。
- アプリケーションによっては、インストールに特定の条件を必要とする場合があります。詳細については、各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。
- PortalServiceは、インテリジェントコントローラに付属のCD-ROMに収められています。必要に応じてインストールすることができます。PortalServiceの詳細については、インテリジェントコントローラに付属のCD-ROMに収められているReadmeファイルを参照してください。

1 ［インストール］をクリックします。



［インストール］ページが表示されます。

2 [参照] をクリックして、インストールするアプリケーションファイルとライセンスファイルをそれぞれ選択し、[OK] をクリックします。

アプリケーションファイル：拡張子が .jar のファイルです。

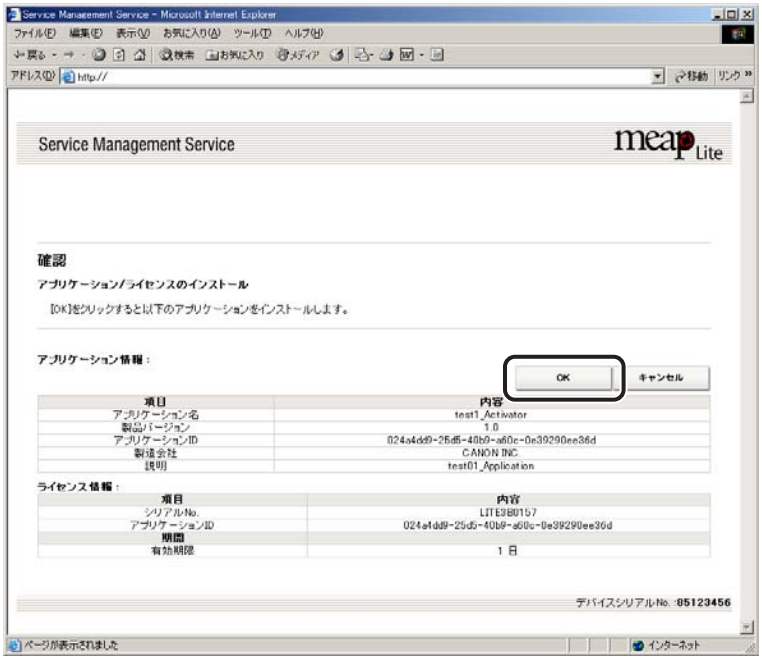
ライセンスファイル：　　拡張子が .lic のファイルです。

「インストールしています ... しばらくお待ちください。」というメッセージが表示されます。

重要
- ライセンスファイルのみをインストールすることはできません。
- アプリケーションをインストールするときは、必ずライセンスファイルを指定してください。ライセンスファイルの指定をせずにインストールすることはできません。
- すでにインストールされているアプリケーションに対してライセンスを追加する場合は、「ライセンスファイルの追加」（→P.4-14）を参照してください。
- すでにインストールされているアプリケーションを更新するときは、一度アプリケーションを停止してから、新しいアプリケーションやライセンスファイルをインストールします。アプリケーションが停止されないと更新することができません。（→ アプリケーションを使用できない状態にする：P.4-9）

メモ　ファイルのパスを直接入力して指定することもできます。

3 インストールの確認ページの内容を確認して、[OK] をクリックします。



アプリケーションによっては、使用許諾契約の画面が表示される場合があります。
内容を確認して、[OK] をクリックします。

「インストールしています ... しばらくお待ちください。」というメッセージが再び表示されたあと、インストールが始まります。

インストールが終了すると、[アプリケーション一覧] ページが表示されます。

重要 インストールしたアプリケーションを使用するには、アプリケーションを開始の状態にする必要があります。(→ アプリケーションの開始と停止：P.4-6)

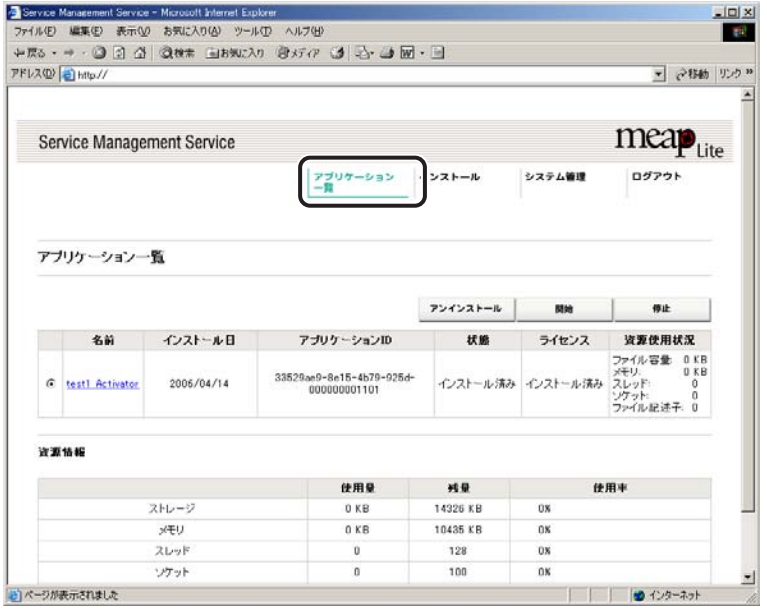
アプリケーションの開始と停止

インストールしたアプリケーションを使用できる状態にしたり、停止させることなどができます。

重要 停止したアプリケーションを使用開始にできるのは、インストールしたプリンタのみです。他のプリンタにインテリジェントコントローラを装着しても使用開始にすることはできません。

アプリケーションを使用できる状態にする

1 [アプリケーション一覧] をクリックします。



[アプリケーション一覧] ページが表示されます。

名前	アプリケーションの名前が表示されます。
インストール日	アプリケーションがインストールされた日が表示されます。
アプリケーション ID	アプリケーション固有の ID が表示されます 。
状態	アプリケーションの状態が表示されます。

アプリケーションの状態には、次のものがあります。

表示されるメッセージ	状態
インストール済み	アプリケーションをインストール後、一度も開始したことがない状態。アプリケーションを停止したあと、プリンタを再起動した場合も［インストール済み］が表示されます。
開始	アプリケーションが起動している状態。
停止	アプリケーションが停止している状態。
開始中	アプリケーションが起動途中の状態。
停止中	アプリケーションが停止途中の状態。

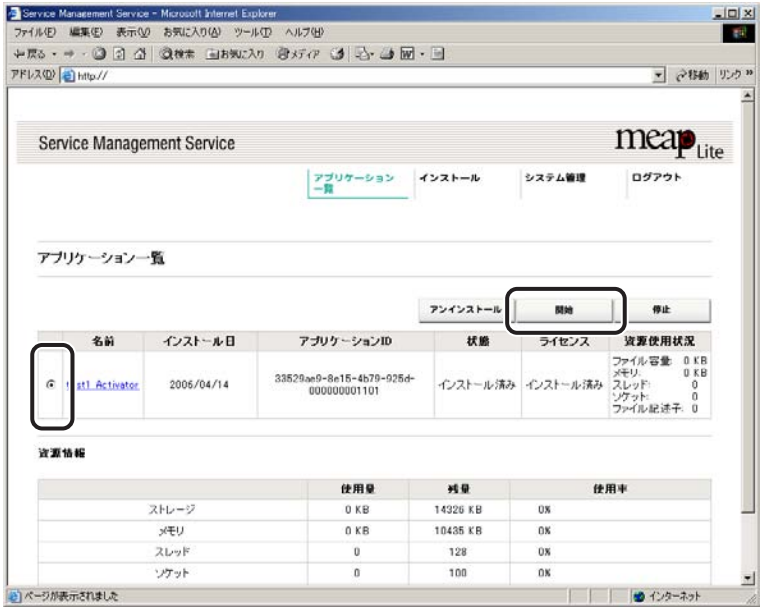
ライセンスの状態には、次のものがあります。

表示されるメッセージ	状態
インストール済み	有効なライセンスファイルがインストールされている。
未インストール	ライセンスファイルが無効になっている。
失効	インストールされているライセンスファイルの有効期限が切れている。

資源情報には、アプリケーション全体が使用している資源の情報が表示されます。

資源情報	説明	更新タイミング
ストレージ	ストレージ使用量。単位は Kbyte。	アプリケーションのインストール・アンインストール時
メモリ	メモリ使用量。単位は Kbyte。	アプリケーションの開始・停止時
スレッド	スレッド数。	
ソケット	ソケット数。	
ファイル記述子	ファイル記述子数。	

2 開始するアプリケーションのラジオボタンを選択して、［開始］をクリックします。



アプリケーションが開始の状態になります。

重要

- 必要なライセンスファイルがインストールされていないアプリケーションは、［開始］をクリックしても使用できません。
- 資源情報のメモリ、スレッド、ソケット、ファイル記述子のいずれか 1 つでも残量がなくなると、［開始］をクリックしてもアプリケーションを開始させることができません。

アプリケーションを使用できない状態にする

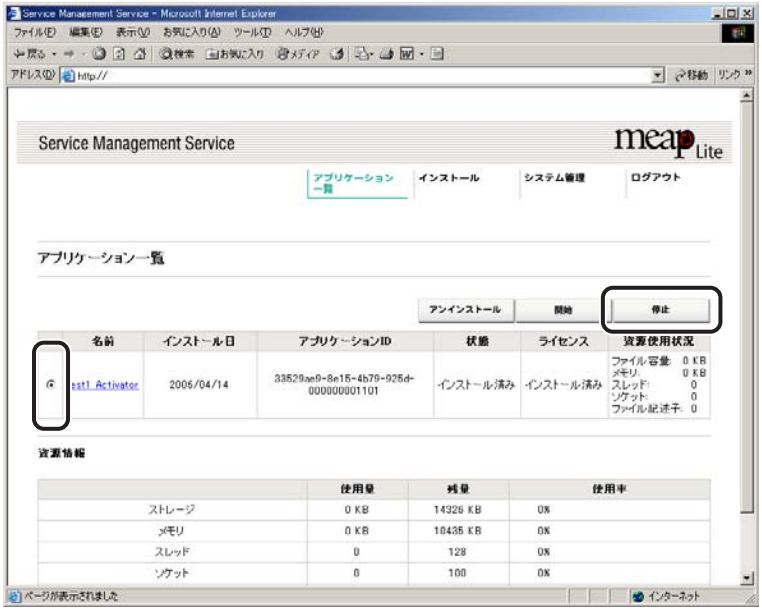
アプリケーションを停止させます。

メモ　アプリケーションの更新を行う場合などに、更新するアプリケーションを停止させます。

1 [アプリケーション一覧] をクリックします。

[アプリケーション一覧] ページが表示されます。

2 停止するアプリケーションのラジオボタンを選択して、[停止] をクリックします。



アプリケーションが停止の状態になります。

アプリケーションのアンインストール

インストールされているアプリケーションをアンインストールします。

重要 アンインストールする前にライセンスファイルを無効化し、削除する必要があります。(→ ライセンスファイルの無効化：P.4-19)

1 **[アプリケーション一覧] をクリックします。**

[アプリケーション一覧] ページが表示されます。

2 **[アプリケーション一覧] ページでアンインストールしたいアプリケーションのラジオボタンを選択して、[アンインストール] をクリックします。**

選択したアプリケーションが削除できない状態になっている場合は、[アンインストール] はグレーアウトしています。

3 表示される画面でアンインストールするアプリケーションを確認し、[OK] をクリックします。

[OK] をクリックするとアンインストールが行われます。

重要
- ライセンスの状態が未インストールのアプリケーションのみ、アンインストールすることができます。それ以外の状態のアプリケーションをアンインストールするときは、[ライセンスファイルの管理] ページでライセンスファイルを無効化したあと、削除してください。(➞ 無効化したライセンスファイルのダウンロード／削除：P.4-22)
- ライセンスファイルを無効化するには、対象のアプリケーションが停止の状態になっている必要があります。
- アンインストールしているアプリケーションが他のアプリケーションと連携している場合、「このアプリケーションがエクスポートしているパッケージは使用できなくなります。」という確認メッセージが表示されることがあります。このようなアプリケーションをアンインストールすると、他のアプリケーションを使用できなくなることがあります。

4 ハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

ハードリセット後、またはプリンタを再起動することで、アンインストールが完了します。

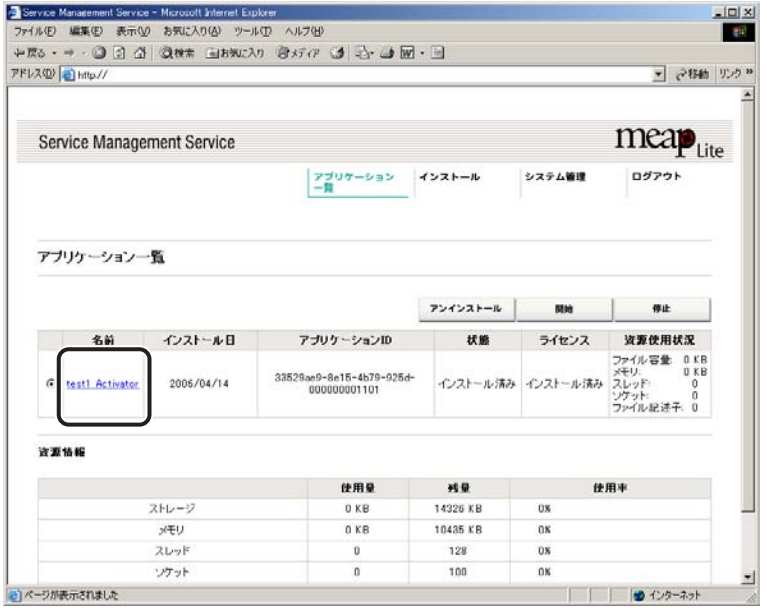
アプリケーションの詳細を確認／設定する

インストールしたアプリケーションの詳細情報を確認することができます。

1 **[アプリケーション一覧] をクリックします。**

[アプリケーション一覧] ページが表示されます。

2 **[アプリケーション一覧] ページで詳細情報を確認するアプリケーションの名前をクリックします。**



［アプリケーション / ライセンスの情報］ページが表示されます。

メモ　表示されるアプリケーションの詳細情報は、アプリケーションによって異なります。

アプリケーションのライセンス設定

インストールしたアプリケーションのライセンスファイルの追加や無効化、削除ができます。

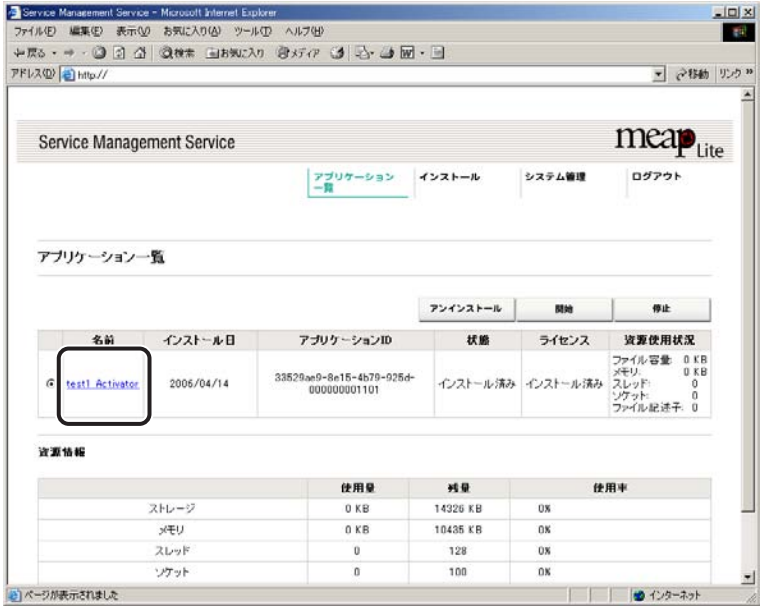
ライセンスファイルの追加

インストールされているアプリケーションに対して、ライセンスファイルを追加インストールすることができます。ライセンスファイルを追加するとカウンタ値や有効期間の延長ができます。

1 **[アプリケーション一覧] をクリックします。**

[アプリケーション一覧] ページが表示されます。

2 **[アプリケーション一覧] ページでライセンスファイルを追加するアプリケーションの名前をクリックします。**



[アプリケーション / ライセンスの情報] ページが表示されます。

3 [アプリケーション / ライセンスの情報] ページで [ライセンス管理] をクリックします。

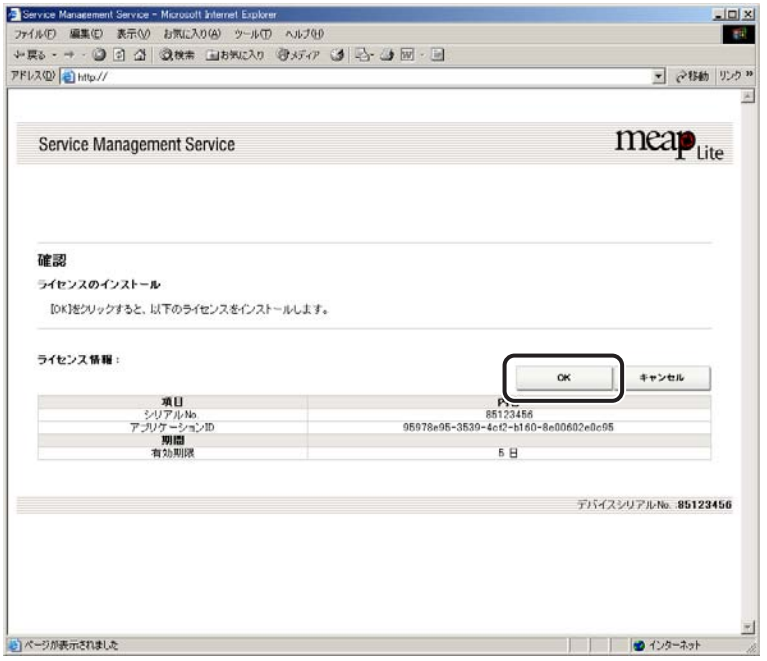
[ライセンスファイルの管理] ページが表示されます。

4 [参照] をクリックして、追加するライセンスファイルを選択します。

5 ［インストール］をクリックします。

「インストールしています ... しばらくお待ちください。」というメッセージが表示されます。

6 インストールの確認ページの内容を確認して、[OK] をクリックします。



「インストールしています ... しばらくお待ちください。」というメッセージが再び表示されたあと、インストールが始まります。

重要 すでに超過あるいは失効したアプリケーションは、ライセンスの追加後に、アプリケーションの再起動（停止および開始）が必要です。

ライセンスファイルの無効化

アプリケーションをアンインストールする前に、ライセンスファイルの無効化をしておきます。

重要

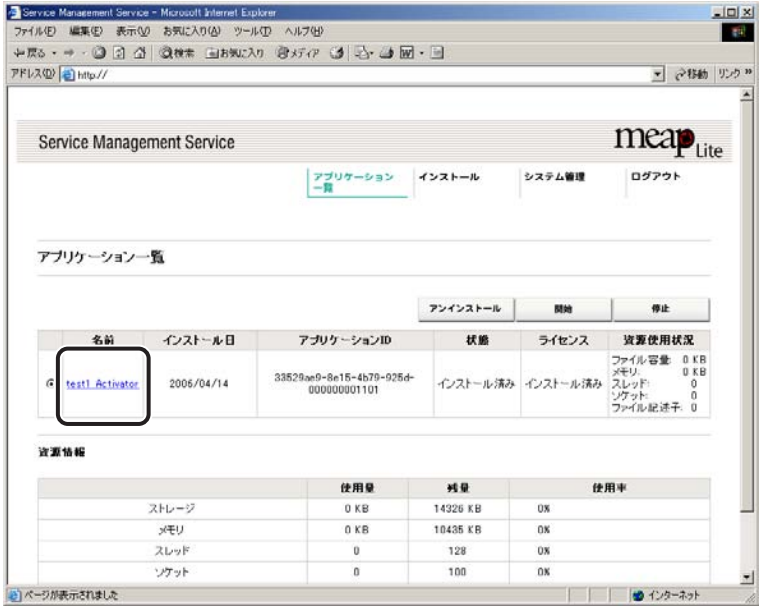
- ライセンスファイルの無効化は、無効化するアプリケーションを停止した後で行います。アプリケーションを停止していない状態では、ライセンスファイルの無効化はできません。
- 無効化したライセンスファイルが生成されると、ライセンスファイルの状態は「未インストール」になり、アプリケーションを使用することができなくなります。
- 無効化したライセンスファイルは、同じプリンタに再度インストールすることができます。

---

1 [アプリケーション一覧] をクリックします。

[アプリケーション一覧] ページが表示されます。

2 [アプリケーション一覧] ページでライセンスファイルを無効化するアプリケーションの名前をクリックします。



[アプリケーション / ライセンスの情報] ページが表示されます。

3 [アプリケーション / ライセンスの情報] ページで [ライセンス管理] をクリックします。

[ライセンスファイルの管理] ページが表示されます。

4 [無効] をクリックします。

ライセンスの無効化を確認するページが表示されます。

5 [OK] をクリックします。

無効化したライセンスファイルのダウンロード／削除

アプリケーションをアンインストールする前に、無効化したライセンスファイルを削除する必要があります。再インストールするため、削除するライセンスファイルをパソコンにダウンロードし、保存しておくこともできます。

重要
- 無効化したライセンスファイルを削除すると、再びプリンタからダウンロードすることはできなくなります。
- ダウンロードしたライセンスファイルは、同じプリンタに再インストールできます。

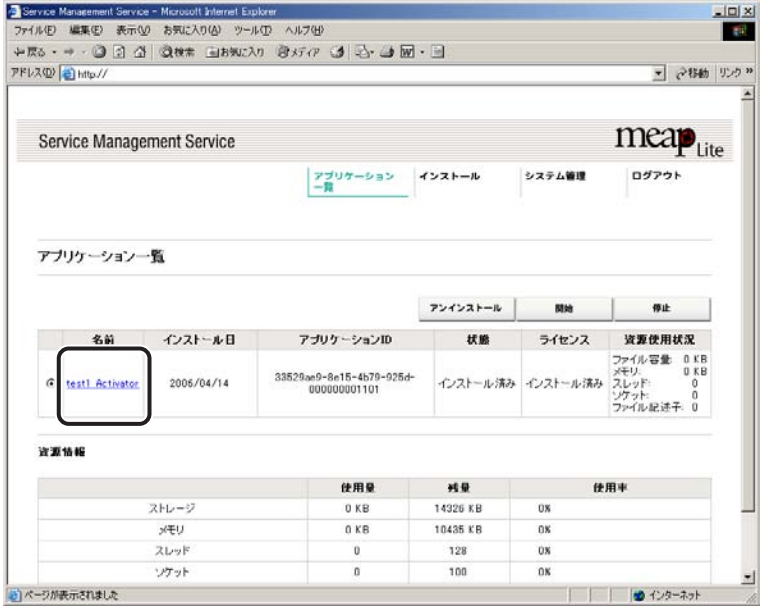
メモ 無効化されているライセンスファイルのみ、ダウンロードや削除を行うことができます。

---

1 **[アプリケーション一覧] をクリックします。**

[アプリケーション一覧] ページが表示されます。

2 **[アプリケーション一覧] ページでライセンスファイルをダウンロード／削除するアプリケーションの名前をクリックします。**



[アプリケーション / ライセンスの情報] ページが表示されます。

3 [アプリケーション / ライセンスの情報] ページで [ライセンス管理] をクリックします。

[ライセンスファイルの管理] ページが表示されます。

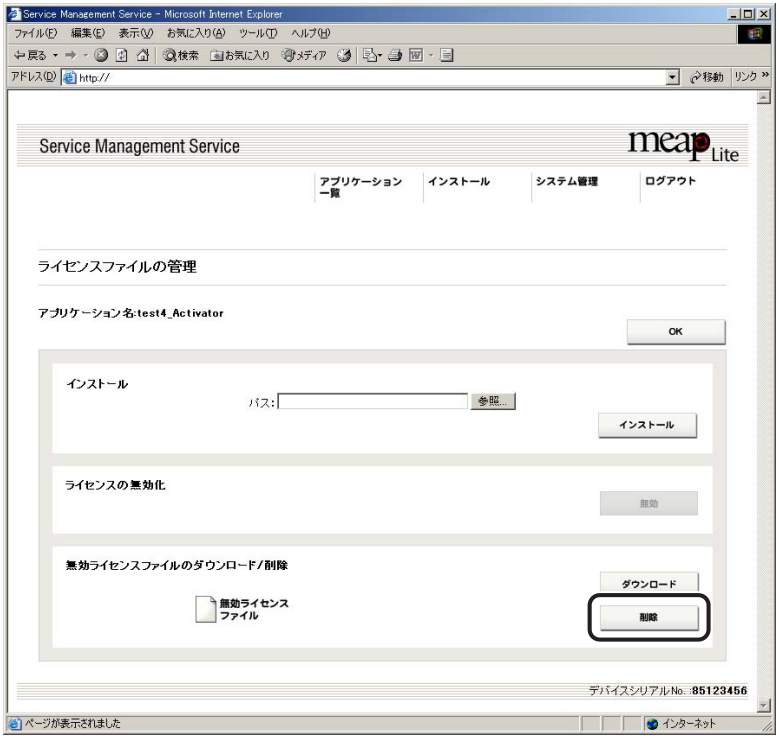
● ダウンロードする場合

❑ ［ダウンロード］をクリックします。

［ダウンロード］を選択した場合は、画面の指示に従って、ファイルの保存場所を指定します。

● 削除する場合

❑ [削除] をクリックします。

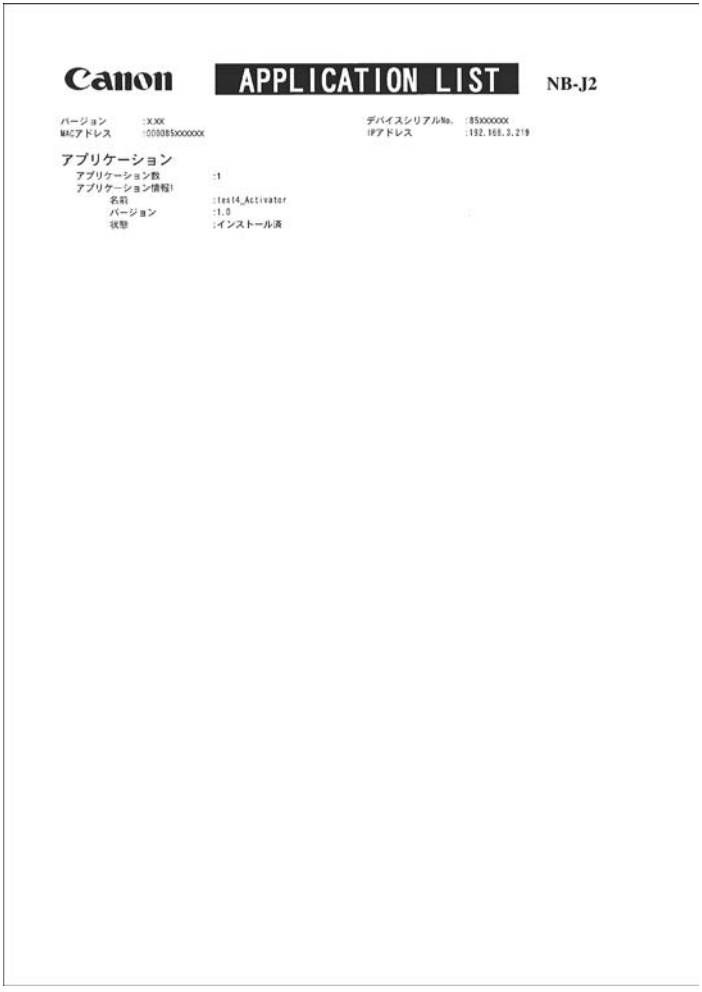


削除を確認するページが表示されます。

4 [OK] をクリックします。

アプリケーションリストを印刷する

インストール済みのアプリケーションの一覧を印刷することができます。アプリケーションリストの印刷は、リモート UI またはプリンタの操作パネルで行うことができます。


Canon APPLICATION LIST NB-J2

バージョン :XXX
MACアドレス :0000B5xxxxxx
デバイスシリアルNo. :85xxxxxx
IPアドレス :192.168.3.219

アプリケーション
アプリケーション数 :1
アプリケーション情報1
名前 :test4_Activator
バージョン :1.0
状態 :インストール済

重要 ここに掲載されているアプリケーションリストはサンプルです。お使いのプリンタで出力したアプリケーションリストとは、内容が異なることがあります。

メモ アプリケーションリストは、A4 サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでも印刷できますが、一部がカットされたり、片寄って印刷されることがあります。

リモートUIからアプリケーションリストを印刷する

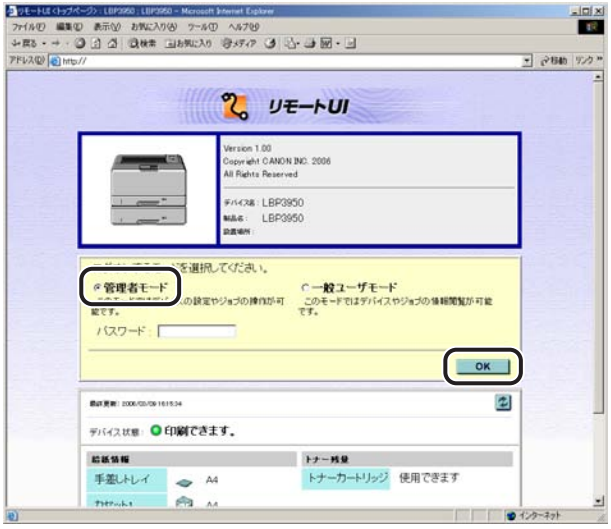
1 **Webブラウザを起動して、[場所]または[アドレス]に以下のURLを入力したあと、キーボードの[ENTER]キーを押します。**

http:// <プリンタ(標準ネットワークまたはインテリジェントコントローラ)のIPアドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

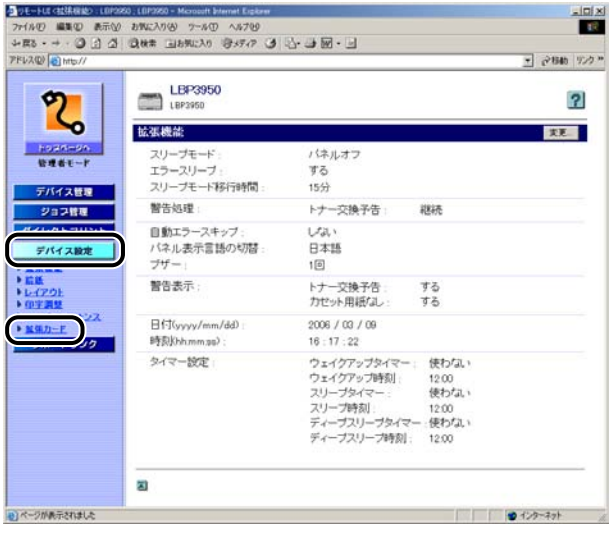
メモ　リモートUIの詳しい説明については、プリンタに付属の「リモートUIガイド」(PDF取扱説明書)を参照してください。

2 **[管理者モード]を選択したあと、[OK]をクリックします。**

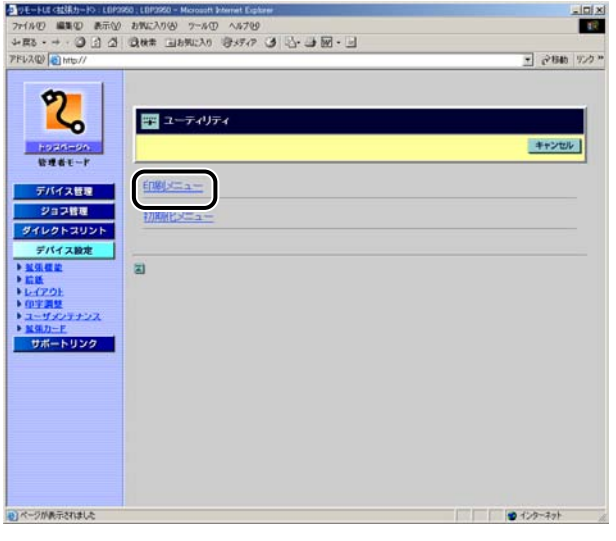


メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、[OK]をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

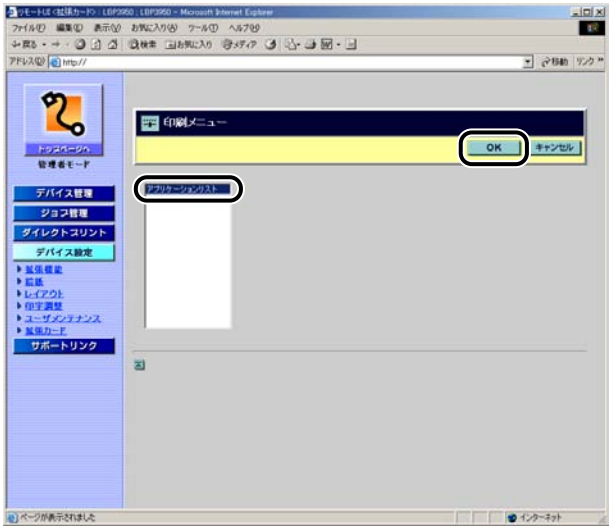
3 左側の［デバイス設定］をクリックして、［拡張カード］をクリックします。



4 ［NB-J2］→［カード設定］→［ユーティリティ］→［印刷メニュー］の順にクリックします。



5 [アプリケーションリスト] を選択して、[OK] をクリックします。



6 [OK] をクリックします。

アプリケーションリストが印刷されます。

プリンタの操作パネルからアプリケーションリストを印刷する

1 プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2 ［セットアップ］を押して、［◄］、［►］で「インタフェース」を選択したあと、［OK］を押します。

3 ［◄］、［►］で「カクチョウカード」を選択して、［OK］を押します。

4 ［◄］、［►］で「NB-J2」を選択して、［OK］を押します。

5 ［◄］、［►］で「カードセッテイ」を選択して、［OK］を押します。

6 ［◄］、［►］で「ユーティリティ」を選択して、［OK］を押します。

7 ［◄］、［►］で「インサツメニュー」を選択して、［OK］を押します。

8 ［◄］、［►］で「アプリケーションリスト」を選択して、［OK］を押します。

9 ［OK］を押します。

アプリケーションリストが印刷されます。

MEAP-Lite システムの管理

5
CHAPTER

この章では、MEAP-Lite システムを管理するシステムアプリケーションの確認や、SMS のログインパスワードの変更などについて説明しています。

システムアプリケーションのアンインストール 5-2
システムアプリケーションの開始と停止 5-4
システムアプリケーションの開始 5-4
システムアプリケーションの停止 5-6
システムアプリケーションのインストール 5-8
システム情報の確認 5-11
アプリケーション情報の確認 5-12
ライセンスファイルの確認 5-13
パスワードの変更 5-14
SSL 暗号化通信機能を設定する 5-16
SSL の有効と無効を切り替える 5-17
鍵と証明書を作成・登録・変更する 5-18
CA 証明書を登録・表示・検証する 5-39
HTTP/HTTPS ポート番号を設定する 5-49

システムアプリケーションのアンインストール

システムアプリケーションとは、MEAP-Lite システムを構成する基本的なアプリケーションです。

メモ　システムアプリケーションは、アンインストールの前にライセンスファイルの削除を行う必要はありません。

1 **[システム管理] → [拡張システムアプリケーション] の順にクリックします。**

システムアプリケーションなどを設定するページが表示されます。

2 アンインストールするアプリケーションのラジオボタンを選択して、[アンインストール] をクリックします。

アンインストールを続けるかを確認するページが表示されます。

3 [OK] をクリックします。

アンインストールが終了すると、[拡張システムアプリケーション] ページが表示されます。

システムアプリケーションの開始と停止

システムアプリケーションの開始と停止およびアンインストールは、［システム管理］ページから行います。

システムアプリケーションの開始

1 ［システム管理］→［拡張システムアプリケーション］の順にクリックします。

システムアプリケーションなどを設定するページが表示されます。

2 開始するアプリケーションのラジオボタンを選択して、[開始] をクリックします。

アプリケーションが正常に開始すると、指定したシステムアプリケーションの状態が開始になります。

システムアプリケーションの停止

1 [システム管理] → [拡張システムアプリケーション] の順にクリックします。

システムアプリケーションなどを設定するページが表示されます。

2 停止するアプリケーションのラジオボタンを選択して、[停止] をクリックします。

アプリケーションが正常に停止すると、システムアプリケーションの状態が停止になります。

システムアプリケーションのインストール

1 [システム管理] → [拡張システムアプリケーション] の順にクリックします。

システムアプリケーションなどを設定するページが表示されます。

2 [拡張システムアプリケーション / ライセンスのインストール] で [参照] をクリックし、拡張システムアプリケーションファイルとライセンスファイルを選択します。

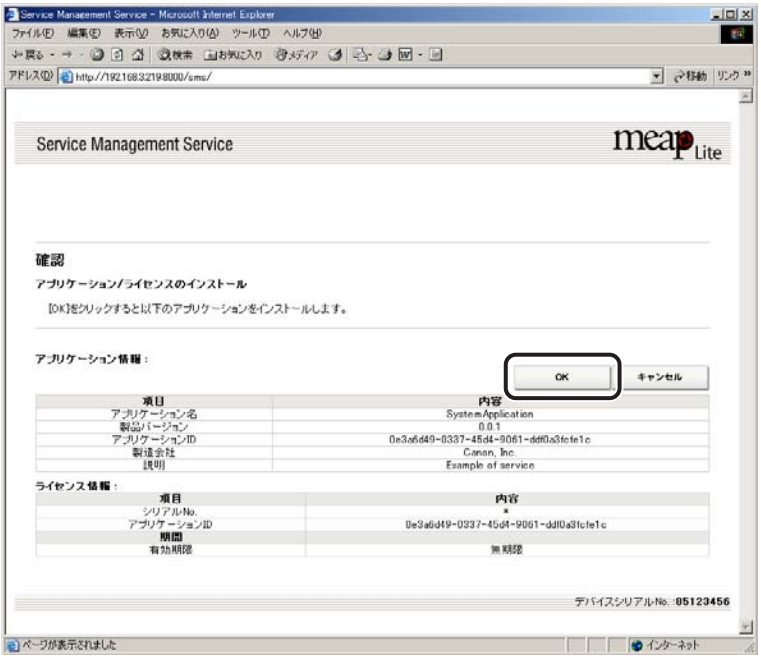
3 [インストール] をクリックします。

「インストールしています ... しばらくお待ちください。」というメッセージが表示されます。

重要 システムアプリケーションをインストールするときは、アプリケーションファイルとライセンスファイルの両方を指定する必要があります。

メモ ファイルのパスを直接入力して指定することもできます。

4 インストールの確認ページの内容を確認して、[OK] をクリックします。



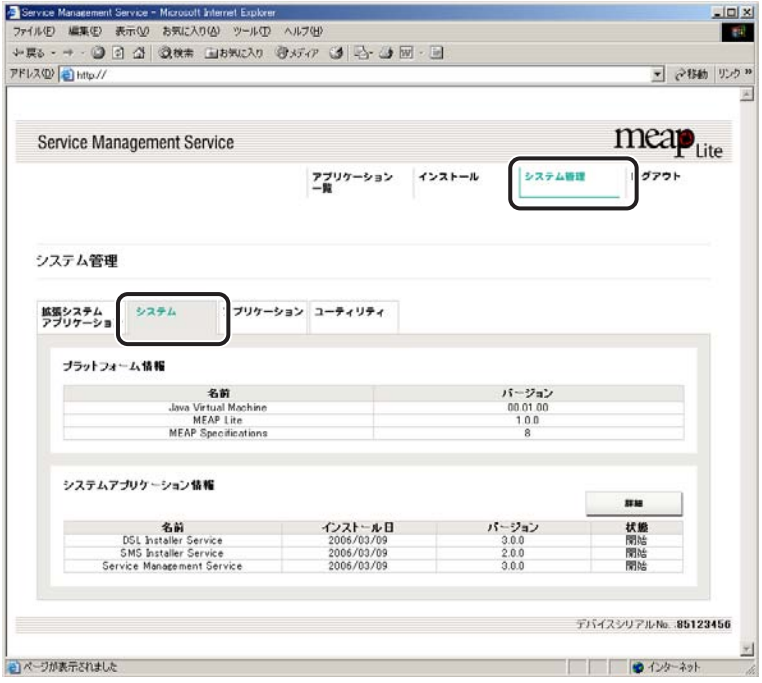
アプリケーションによっては、使用許諾契約の画面が表示される場合があります。
内容を確認して、[OK] をクリックします。

「インストールしています ... しばらくお待ちください。」というメッセージが再び表示されたあと、インストールが始まります。

システム情報の確認

Java Virtual Machine などのプラットフォームに関するバージョン情報や、システムアプリケーションのバージョン情報、インストール日、状態などを確認することができます。

1 ［システム管理］→［システム］の順にクリックします。

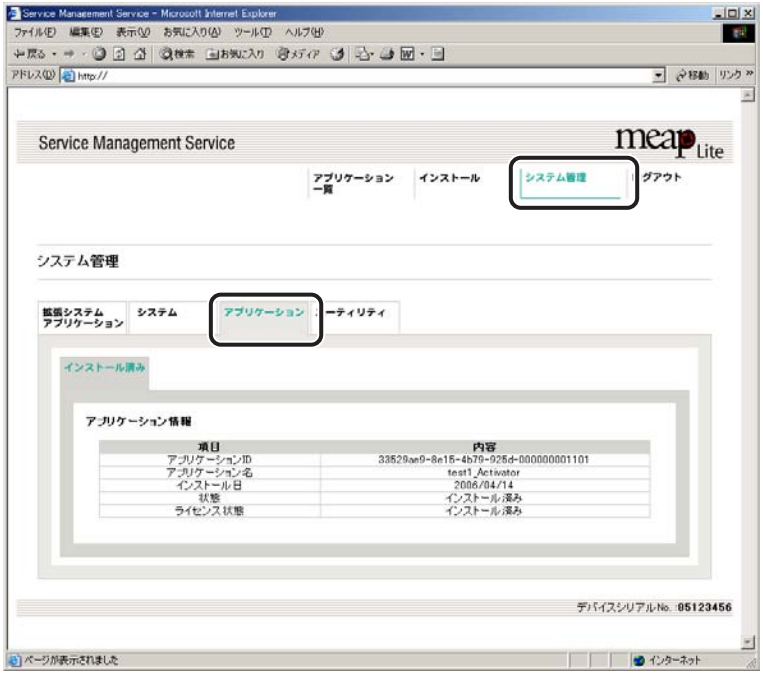


メモ
- さらに詳細な情報を確認したいときは、［詳細］をクリックします。
- MEAP Specifications はこの画面で確認することができます。

アプリケーション情報の確認

アプリケーションの情報を確認することができます。

1 ［システム管理］→［アプリケーション］の順にクリックします。



インストールされているアプリケーション（システムアプリケーションを除く）の情報を確認することができます。

ライセンスファイルの確認

インストール前のライセンスファイルの内容を確認することができます。

重要　インストールされたライセンスファイルの内容は、表示できません。

1 [システム管理] → [ユーティリティ] の順にクリックします。

2 [ライセンス確認] をクリックします。

3 [参照] をクリックして、確認するライセンスファイルを選択します。

メモ　ファイルのパスを直接入力して指定することもできます。

4 [確認] をクリックします。

ライセンスファイルの内容が表示されます。

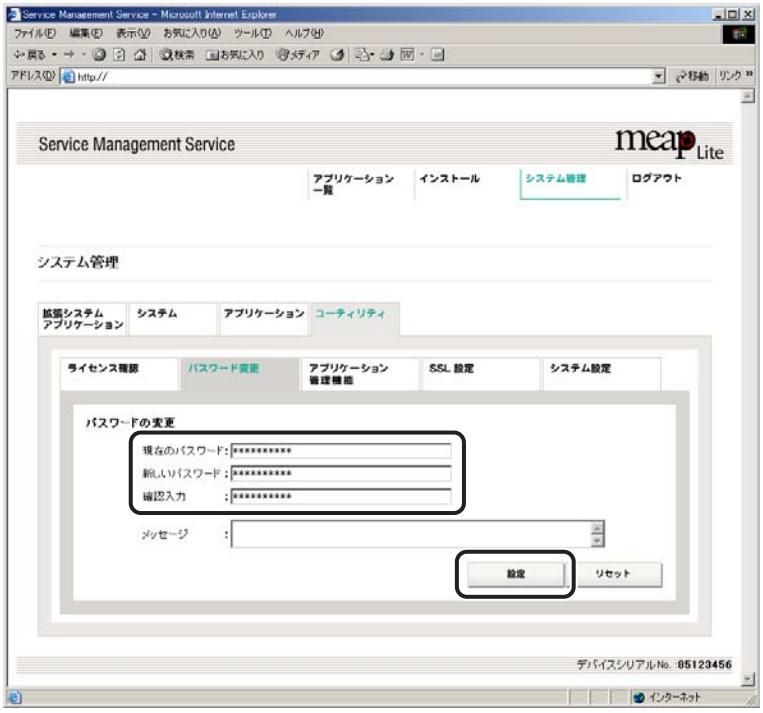
パスワードの変更

SMS のパスワードを変更することができます。

1 ［システム管理］→［ユーティリティ］の順にクリックします。

2 ［パスワード変更］をクリックします。

3 使用しているパスワードと新しいパスワードを入力して、［設定］をクリックします。



重要 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、SMS を使用することができなくなります。この場合は、ファイルシステムをフォーマットすることによって、SMS のログインパスワードを工場出荷時のパスワードに戻すことができます。ファイルシステムをフォーマットすると、プリンタにインストールされているアプリケーションやライセンスファイル、アプリケーションから作られたファイルシステム内に保存されているデータも削除されます。ファイルシステムのフォーマットについての詳細は、「インテリジェントコントローラの初期化」（→P.7-7）を参照してください。

メモ パスワードには、8 文字～ 32 文字の半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）を指定します。

SSL 暗号化通信機能を設定する

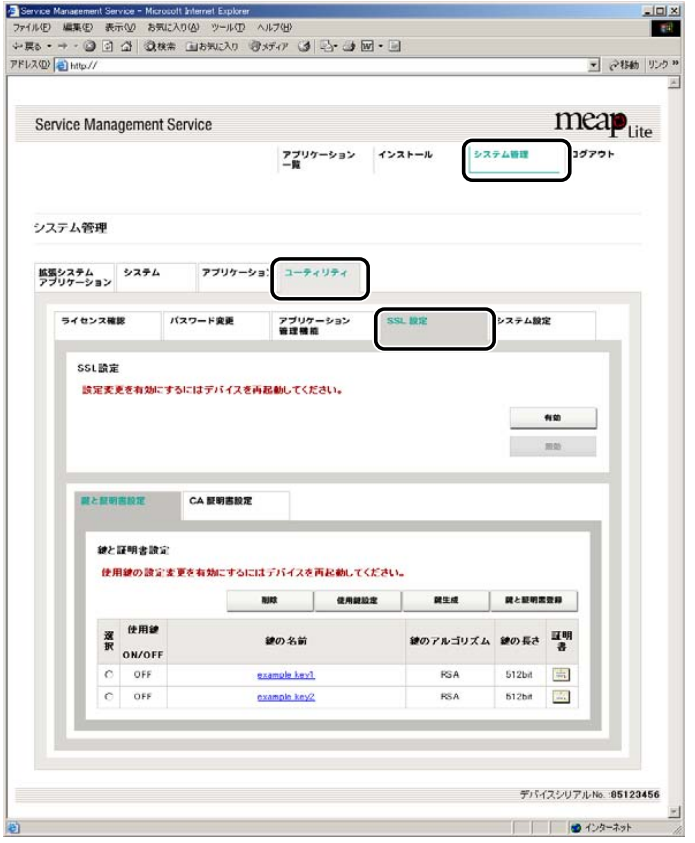
SMS の通信を SSL で暗号化するには、以下のいづれかの方法で設定を行います。

■ 本プリンタで鍵と証明書を新規作成するか本プリンタ以外で作成された鍵と証明書ファイル（拡張子：.P12）を使用する場合（→ 鍵と証明書を作成・登録・変更する：P.5-18）

■ CA 証明書ファイル（拡張子：.CER）を使用する場合（→CA 証明書を登録・表示・検証する：P.5-39）

鍵や証明書ファイルの設定後、SSL 暗号化通信を有効にします（→SSL の有効と無効を切り替える：P.5-17）。

メモ　SSL の設定画面の表示について
SSL の設定画面は、[システム管理] → [ユーティリティ] → [SSL 設定] の順にクリックして表示します。



SSL の有効と無効を切り替える

SSL の有効と無効を切り替えます。

1 [SSL 設定] の [有効] または [無効] をクリックします。

2 ハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

重要 SSL 暗号化通信を有効にすると、SMS へログインするときのアドレスが「https:// <プリンタ（インテリジェントコントローラ）の IP アドレスまたは名前> : < HTTPS ポート番号> /sms/」になります。

鍵と証明書を作成・登録・変更する

暗号化を行う公開鍵、復号化を行う秘密鍵、鍵の情報をユーザが確認するための証明書の設定を行います。お使いの環境や設定したい項目に応じて以下を参照してください。

■ 本プリンタで鍵と証明書を新規作成してお使いになる場合

- 鍵と証明書を新規作成する（→P.5-19）
  鍵ペア（公開鍵と秘密鍵）と証明書を新規作成します。
- 鍵を使用鍵に設定する（→P.5-32）
  作成した鍵を SSL 暗号化通信で使用する鍵に設定します。
- 証明書を確認・検証する（→P.5-34）
  作成した鍵の証明書を確認または検証します。
- 鍵と証明書を削除する（→P.5-38）
  作成した鍵と証明書を削除します。

■ 本プリンタ以外で作成された鍵と証明書ファイルをお使いになる場合

- 鍵と証明書ファイルをプリンタに登録する（→P.5-27）
  本プリンタ以外で作成された鍵と証明書ファイルを本プリンタに登録します。
- 鍵を使用鍵に設定する（→P.5-32）
  登録した鍵を SSL 暗号化通信で使用する鍵に設定します。
- 証明書を確認・検証する（→P.5-34）
  登録した鍵の証明書を確認または検証します。
- 鍵と証明書を削除する（→P.5-38）
  登録した鍵と証明書を削除します。

重要

- 鍵と証明書は 2 つまで作成・登録できます。すでに 2 つの鍵と証明書を作成・登録している場合に、さらに鍵と証明書を新規作成・登録するときは、不要な鍵と証明書を削除したあと新規作成・登録を行います。
- 本プリンタに登録できる鍵と証明書ファイルは、鍵のアルゴリズムが「RSA」で、拡張子が「.P12」の PKCS#12 フォーマットのファイルのみです。

1 [鍵生成] をクリックします。

2 [鍵の名前] に新規作成する鍵の名前を入力します。

メモ [鍵の名前] には、24 文字までの半角英数字、スペース（「 」）、コンマ（「,」）、ピリオド（「.」）、ハイフン（「-」）、スラッシュ（「/」）、ダブルクォーテーション（「"」）、丸括弧（「(」「)」）、プラス（「+」）、等号（「=」）、クエスチョンマーク（「?」）を入力できます。

3 ［鍵の長さ］を設定します。

鍵の長さを、［512bit］または［1024bit］から選択します。

メモ
- ［鍵のアルゴリズム］は［RSA］で固定され、設定はできません。
- 鍵の長さは、長い方が暗号化したものを解読するのが難解になりますが、暗号化や復号化の処理速度は遅くなります。データ通信時のセキュリティの必要性に応じて鍵の長さを選択してください。

4 ［有効期限開始日］と［有効期限終了日］を設定します。

自己署名型サーバ証明書の有効期限開始日と有効期限終了日を入力します。

メモ　［有効期限開始日］と［有効期限終了日］には、1971 年 1 月 1 日から 2037 年 12 月 31 日までの年月日が入力可能です。

5 自己署名型サーバ証明書の対象となる国 / 地域名を設定します。

登録済みの国コード一覧から国 / 地域名を選択する場合は、[国 / 地域名で選択] を選択し、プルダウンメニューから国 / 地域名を選択します。

インターネット地域コードを直接入力する場合は、[インターネット地域コードで入力] を選択し、インターネット地域コードを、半角 2 文字以内で入力します。

メモ　日本のインターネット国コードは「JP」です。

6 [組織]、[組織単位]、[都道府県]、[市町村]、[共通名] のうち、必要な情報を設定します。

入力する項目

[組織]： 組織名を入力します。
[組織単位]： 部門名など、組織の単位を入力します。
[都道府県]： 都道府県名を入力します。
[市町村]： 市町村名を入力します。
[共通名]： 本プリンタの IP アドレスや FQDN（xyz.company.com のような形式）を入力します。

重要 ［国 / 地域名］、［組織］、［組織単位］、［都道府県］、［市町村］、［共通名］のうち、少なくとも 1 つの項目は設定してください。全項目が空白の場合、自己署名型サーバ証明書は発行されません。

メモ ［組織］、［組織単位］、［都道府県］、［市町村］、［共通名］には、24 文字までの半角英数字、スペース（「 」）、コンマ（「,」）、ピリオド（「.」）、ハイフン（「-」）、スラッシュ（「/」）、ダブルクォーテーション（「"」）、丸括弧（「(」「)」）、プラス（「+」）、等号（「=」）、クエスチョンマーク（「?」）を入力できます。

7 [OK] をクリックすると鍵と証明書の作成が開始されます。

[キャンセル] をクリックすると、鍵と証明書を作成しないで前の画面に戻ります。

作成した鍵で SSL 暗号化通信を行う場合は、鍵と証明書の作成が完了したあと、「鍵を使用鍵に設定する」（→P.5-32）を参照して、作成した鍵を SSL 暗号化通信で使用する鍵に設定します。

1 [鍵と証明書登録] をクリックします。

2 ［ファイルのパス］に鍵と証明書ファイルのパスを入力します。

［参照］をクリックすると、ファイルの選択ダイアログボックスから鍵と証明書ファイルのパスを選択することができます。

3 ［鍵の名前］に登録する鍵の名前を入力します。

メモ　［鍵の名前］には、24 文字までの半角英数字、スペース（「 」）、コンマ（「,」）、ピリオド（「.」）、ハイフン（「-」）、スラッシュ（「/」）、ダブルクォーテーション（「"」）、丸括弧（「(」「)」）、プラス（「+」）、等号（「=」）、クエスチョンマーク（「?」）を入力できます。

4 ［パスワード］と［パスワードの確認］に秘密鍵に設定されているパスワードを入力します。

メモ　［パスワード］と［パスワードの確認］には、24 文字までの半角英数字を入力できます。

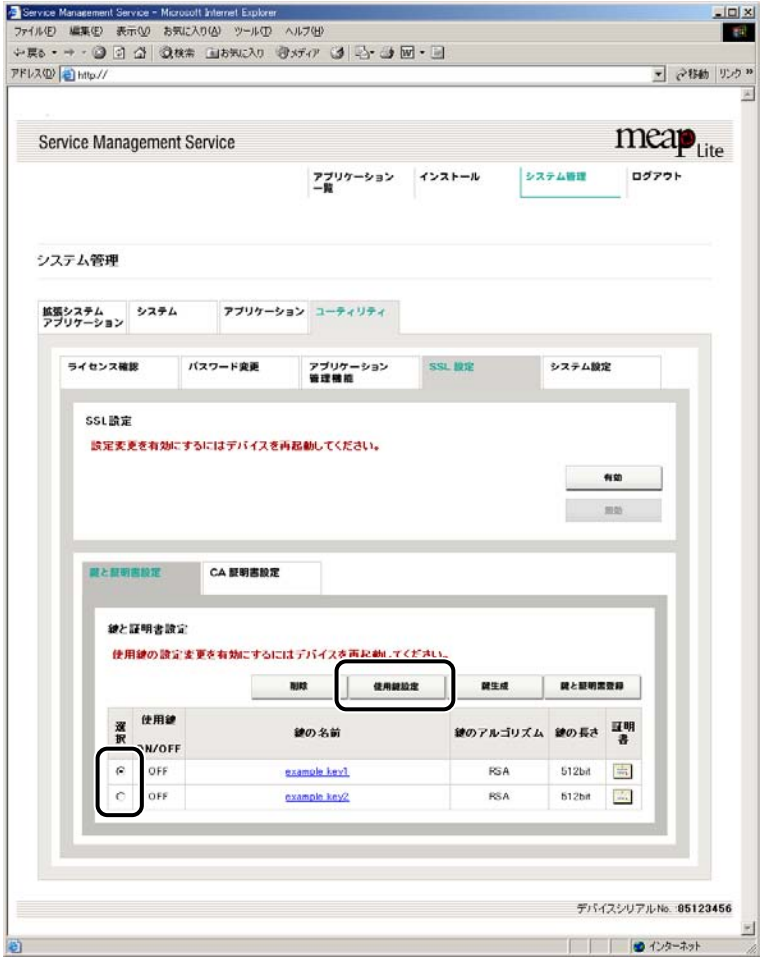
5 ［登録］をクリックすると鍵と証明書の登録が開始されます。

［戻る］をクリックすると、鍵と証明書を登録しないで前の画面に戻ります。

登録した鍵で SSL 暗号化通信を行う場合は、鍵と証明書の登録が完了したあと、「鍵を使用鍵に設定する」（→P.5-32）を参照して、登録した鍵を SSL 暗号化通信で使用する鍵に設定します。

鍵を使用鍵に設定する

1 鍵を選択したあと、[使用鍵設定] をクリックします。



メモ　SSL のアプリケーションが鍵と証明書を使用している場合は、使用鍵の変更はできません。

2 [OK] をクリックします。

1 鍵の名前または証明書のアイコンをクリックします。

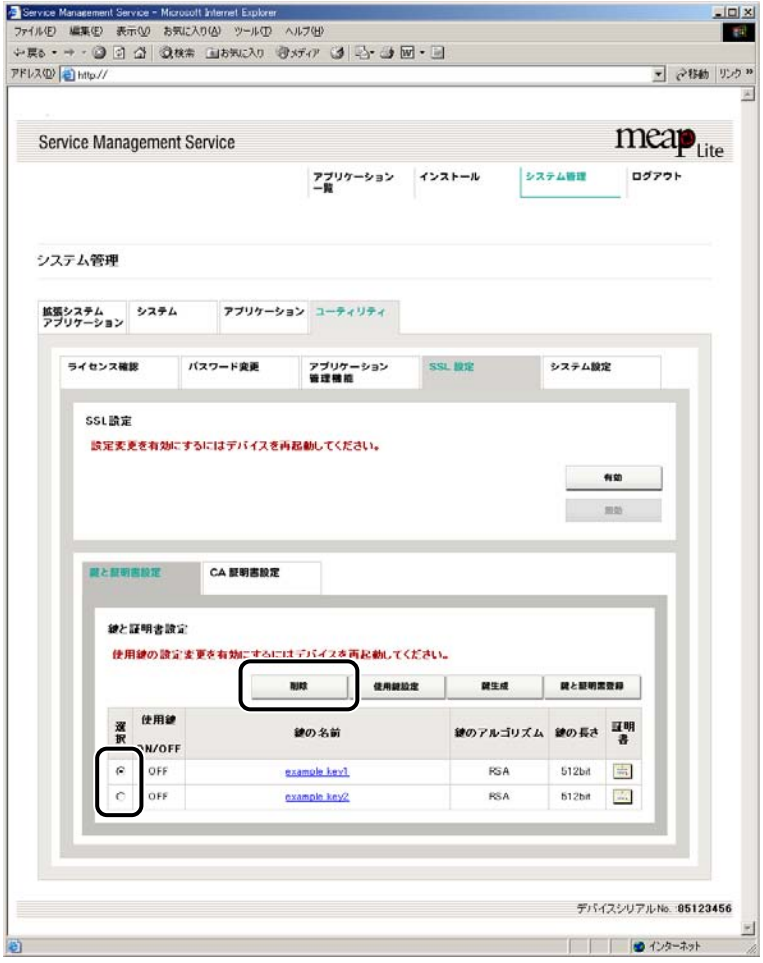
2 証明書の詳細情報を確認します。

3 証明書を検証する場合は、［証明書の検証］をクリックします。

4 [戻る] をクリックします。

鍵と証明書を削除する

1 鍵を選択したあと、［削除］をクリックします。



メモ　SSL のアプリケーションが鍵と証明書を使用している場合は、鍵と証明書の削除はできません。

2 [OK] をクリックします。

CA 証明書を登録・表示・検証する

CA 証明書の設定を行います。

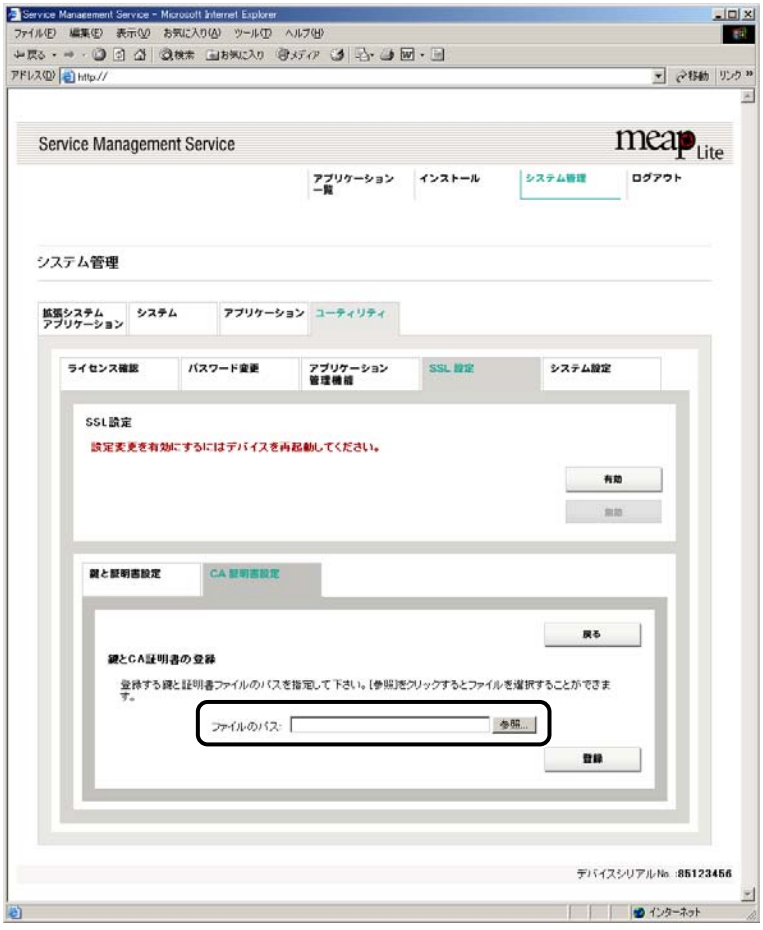
- CA 証明書を登録する（→P.5-40）
  CA 証明書ファイルを本プリンタに登録します。
- CA 証明書を確認・検証する（→P.5-43）
  登録した CA 証明書を確認または検証します。
- CA 証明書を削除する（→P.5-47）
  登録した CA 証明書を削除します。

重要
- CA 証明書は 50 個まで登録できます。
- 本プリンタに登録できる CA 証明書ファイルは、拡張子が「.CER」の X.509DER フォーマットのファイルのみです。

1 [CA 証明書登録] をクリックします。

2 [ファイルのパス] に CA 証明書ファイルのパスを入力します。

[参照] をクリックすると、ファイルの選択ダイアログボックスから CA 証明書ファイルのパスを選択することができます。



3 **[登録] をクリックすると CA 証明書の登録が開始されます。**

[戻る] をクリックすると、CA 証明書を登録しないで前の画面に戻ります。

1 CA 証明書のアイコンをクリックします。

2 証明書の詳細情報を確認します。

3 証明書を検証する場合は、[証明書の検証] をクリックします。

4 [戻る] をクリックします。

CA 証明書を削除する

1 CA 証明書を選択したあと、[削除] をクリックします。

2 [OK] をクリックします。

HTTP/HTTPS ポート番号を設定する

HTTP/HTTPS のポート番号を変更することができます。
ポート番号の工場出荷時の設定と設定範囲は以下の通りです。

	工場出荷時の設定	設定範囲
HTTP ポート	8000	1 ～ 65535
HTTPS ポート	8443	1 ～ 65535

1 **HTTP ポートまたは HTTPS ポートの番号を入力し、[OK]をクリックします。**

2 **ハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。**

ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

6 CHAPTER

困ったときには

この章では、インテリジェントコントローラを使用していて起こったトラブルの解決方法について説明しています。

エラーメッセージ一覧 6-2
［ログイン］ページに関するエラー 6-2
［アプリケーション一覧］ページに関するエラー 6-3
［インストール］ページに関するエラー 6-4
［ライセンス管理］ページに関するエラー 6-8
［拡張システムアプリケーション］ページに関するエラー 6-10
［ユーティリティ］ページに関するエラー 6-14
その他のトラブル 6-16
インテリジェントコントローラの設定項目を確認したいときは（拡張カードリストを印刷する） . . 6-18
インテリジェントコントローラを設定する 6-19

エラーメッセージ一覧

画面に表示されるメッセージの対処方法を説明します。
表示されたメッセージに応じて、必要な処理を行ってください。
以下は、表示されるエラーメッセージと原因および処置方法の一覧です。

[ログイン] ページに関するエラー

他のユーザーがログインしているか、ログアウト操作を正常に行わなかったためログインできません。しばらく待ってから操作してください。

原因 1 SMS には複数のブラウザからログインできません。一人がログインしているときに、他のブラウザからアクセスし正しいパスワードを入力してもログインすることはできません。

処　置 ログインしているブラウザからログアウトしてください。

原因 2 [ログアウト] ボタンを押してログアウトせずにブラウザを閉じてしまうと、しばらくの間ログインできません。

処　置 タイムアウト（約 5 分）するまで待って再度ログインしてください。

Service Management Service を使用する権限がありません。管理者権限でログインしなおしてください。

原　因 プリンタにログインするときのユーザ名 / パスワードで SMS にログインできるのは、管理者権限を持つユーザのみです。ログインしようとしたユーザに管理者権限が無いため、ログインできません。

処　置 管理者権限を持つユーザのユーザ名 / パスワードでログインし直してください。

指定した URL の Service Management Service は開始していません。正しい URL を指定しなおしてください。

原　因 実行したログイン方法が「開始」に設定されていません。

処　置 「開始」に設定されているログイン方法（実行していないログイン方法）で SMS にログインしてください。

エラー発生：< エラーの内容 >

原　因　何らかの原因でエラーが発生しました。詳しくは、＜エラーの内容＞を参照してください。

処　置　＜エラーの内容＞から対処法が不明な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

［アプリケーション一覧］ページに関するエラー

このアプリケーションを開始させるにはライセンスが必要です。ライセンスをインストールしてから開始しなおしてください。

原　因　ライセンスファイルがインストールされていないため開始できません。

処　置　ライセンスファイルをインストールしてからアプリケーションを開始してください。

アプリケーションの開始に必要なシステム資源（メモリ、スレッド、ソケット、ファイルディスクリプタ、ディスク容量またはスクリーンサイズ）が確保できない可能性があるため、アプリケーションを開始できません。< 確保できないシステム資源 >

原　因　アプリケーションのためのシステム資源が確保できない可能性があるのでアプリケーションを開始できません。

処　置　他のアプリケーションを停止した後、開始してください。開始できる場合があります。

エラー発生：< エラーの内容 >

原　因　何らかの原因でエラーが発生しました。詳しくは、＜エラーの内容＞を参照してください。

処　置　＜エラーの内容＞から対処法が不明な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

［インストール］ページに関するエラー

インストールするアプリケーションのファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原　因　指定したパスにアプリケーションファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。

処　置　ファイルのパスを正確に指定してください。

インストールするライセンスのファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原　因　指定したパスにライセンスファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。

処　置　ファイルのパスを正確に指定してください。

インストールするアプリケーションのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原　因　アプリケーションとして指定したファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。

処　置　このアプリケーションファイルはインストールできません。ファイルを確認してください。ファイルに問題がない場合は、アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

インストールするライセンスのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原　因　ライセンスファイルとして指定したファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。

処　置　このライセンスファイルはインストールできません。ファイルを確認してください。ファイルに問題がない場合は、アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

指定されたアプリケーションのファイルに、以下の情報が不足しています。ファイルを確認してください。< 足りない情報 >

原　因　アプリケーションに必須の情報がアプリケーションファイルに含まれていないため、インストールすることができません。

処　置　ファイルを確認してください。ファイルに問題がない場合は、＜足りない情報＞がないかアプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

指定されたアプリケーション内の以下の情報が正しくありません。ファイルを確認してください。< 不正確な情報 >

原因 1　アプリケーションファイル内の＜不正確な情報＞を、正しい情報として認識することができません。

処　置　アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

原因 2　＜不正確な情報＞が MEAP Specifications の場合、アプリケーションが持つ MEAP Specifications の値とプリンタ側の値が一致していません。

処　置　お買い求めの販売店にお問い合わせください。

指定したアプリケーションとライセンスが対応していないため、インストールできません。ライセンスファイルのパスを指定しなおしてください。

原　因　指定されたライセンスファイルが、指定されたアプリケーションに対応していないため、アプリケーションのインストールを行うことができません。

処　置　アプリケーションファイルに対応するライセンスファイルを指定してください。

指定されたライセンスは、すでにインストールされています。

原　因　一度インストールされたライセンスファイルを、再びインストールすることはできません。指定されたライセンスファイルはすでに一度インストールされています。

処　置　指定されたライセンスファイルはインストールできませんので、他のファイルを指定してください。

指定されたアプリケーションをインストールするには、同時にライセンスファイルをインストールする必要があります。ライセンスファイルを指定してください。

原　因　アプリケーションに対応したライセンスファイルを同時に指定しなければ、インストールできません。

処　置　アプリケーションファイルを指定するとともに、アプリケーションに対応するライセンスファイルを指定してインストールしてください。

指定されたファイルはシステムアプリケーションです。［拡張システムアプリケーション］ページからインストールしてください。

原　因　指定されたファイルはシステムアプリケーションです。このインストールページからインストールすることはできません。

処　置　［拡張システムアプリケーション］ページからインストールしてください。

指定されたライセンスは、このデバイスには対応していません。インストール可能なライセンスを指定してください。

原　因　ライセンスファイルには、インストールできるシリアルナンバー情報が含まれています。指定されたライセンスファイルにはこのシリアルナンバー情報がないため、インストールできません。

処　置　シリアルナンバーに合致したライセンスファイルを指定してください。

指定されたアプリケーションは、このデバイスをサポートしていません。

原　因　アプリケーションファイルによっては、インストールできるプリンタの機種が決められています。この機種にはインストールできません。

処　置　プリンタの機種に対応しているアプリケーションを指定してください。

指定されたファイルは、アップデートファイルです。アップデートするシステムアプリケーションを停止してから、インストールしてください。

原　因　指定されたアプリケーションファイルは、すでにインストールされているアプリケーションをアップデートするファイルです。アップデートするためには、アップデート対象のアプリケーションを停止する必要があります。

処　置　アップデート対象のアプリケーションを停止してから、アプリケーションのアップデートを行ってください。

アプリケーションのライセンス条件が異なるため、このままインストールすることができません。インストールする前に、指定したアプリケーションをアンインストールしてください。

原　因　すでにインストールされているアプリケーションに対して、ライセンス条件の異なる同じアプリケーションをアップグレードインストールしようとしました。

処　置　アップグレードしようとするアプリケーションをアンインストールしてから、アップグレードインストールを行ってください。

ストレージの容量を超えるため、アプリケーションをインストールできません。他のアプリケーションをアンインストールしてからインストールしなおしてください。

原　因　ストレージがいっぱいでアプリケーションがインストールできません。

処　置　使用していないアプリケーションをアンインストールしてストレージの空き領域を確保してください。

インストールをキャンセルできませんでした。インストールは正常に終了しました。

原　因　インストール動作がキャンセルできない状態にあるときに、キャンセルボタンが押されました。インストールが正常に終了しました。

処　置　ライセンスファイルを無効化し、[ライセンス管理] ページからダウンロードしてください。

このアプリケーションは、本体の MEAP-Lite バージョンに対応していません。アプリケーションのバージョンをご確認の上、お買い求めの販売店にご連絡ください。

原　因　<不正確な情報>が MEAP Specifications の場合、アプリケーションが持つ MEAP Specifications の値とプリンタ側の値が一致していません。

処　置　お買い求めの販売店にお問い合わせください。

指定したアプリケーションが見つかりません。他のユーザによってアンインストールされた可能性があります。

原　因　指定したアプリケーションは、すでにアンインストールされています。

処　置　必要に応じて、アプリケーションを再インストールしてください。

エラー発生：< エラーの内容 >

原　因　何らかの原因でエラーが発生しました。詳しくは、＜エラーの内容＞を参照してください。

処　置　＜エラーの内容 ＞から対処法が不明な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

［ライセンス管理］ページに関するエラー

指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原　因　指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。

処　置　ファイルのパスを正確に指定してください。

インストールするライセンスのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原因 1　ファイルの内容が正しくありません。

原因 2　ファイルの情報が不足しています。

処　置　このライセンスファイルはインストールできません。アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

アプリケーションと指定したライセンスが対応していないため、インストールできません。ライセンスファイルのパスを指定しなおしてください。

原　因　指定されたライセンスファイルが、アプリケーションに対応したものではありません。インストールを行うことができません。

処置 1　アプリケーションに対応するライセンスファイルを指定してください。

処置 2　アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口へお問い合わせください。

指定されたライセンスは、すでにインストールされています。

原　因　一度インストールされたライセンスファイルを、再びインストールすることはできません。指定されたライセンスファイルはすでに一度インストールされています。

処　置　指定されたライセンスファイルはインストールできませんので、他のファイルを指定してください。

指定されたライセンスは、このデバイスには対応していません。インストール可能なライセンスを指定してください。

原　因　ライセンスファイルには、インストールできるシリアルナンバー情報が含まれています。指定されたライセンスファイルにはこのシリアルナンバー情報がないため、インストールできません。

処　置　シリアルナンバーに合致したライセンスファイルを指定してください。

インストールをキャンセルできませんでした。インストールは正常に終了しました。

原　因　インストール動作がキャンセルできない状態にあるときに、キャンセルボタンが押されました。インストールが正常に終了しました。

処　置　ライセンスファイルを無効化し、[ライセンス管理] ページからダウンロードしてください。

アプリケーションが開始されているため、ライセンスを無効化できません。アプリケーションを停止してからライセンスの無効化を行ってください。

原　因　ライセンスファイルの無効化をする場合、ライセンスファイルに対応するアプリケーションが停止していなければなりません。アプリケーションが停止していないので、ライセンスファイルを無効化することができません。

処　置　ライセンスファイルに対応するアプリケーションを停止してからライセンスファイルの無効化を行ってください。

指定したアプリケーションが見つかりません。他のユーザによってアンインストールされた可能性があります。

原　因　指定したアプリケーションは、すでにアンインストールされています。

処　置　必要に応じて、アプリケーションを再インストールしてください。

エラー発生：< エラーの内容 >

原　因　何らかの原因でエラーが発生しました。詳しくは、＜エラーの内容＞を参照してください。

処　置　＜エラーの内容＞から対処法が不明な場合は、インストールに関してはアプリケーション開発元またはアプリケーションサポート窓口に、無効化およびダウンロードに関してはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

［拡張システムアプリケーション］ページに関するエラー

アプリケーションの開始に必要なシステム資源が確保できない可能性があるため、アプリケーションを開始できません。< 確保できないシステム資源 >

原　因　アプリケーションのためのシステム資源が確保できない可能性があるのでアプリケーションを開始できません。
備考：＜確保できないシステム資源＞は、以下のものです。

- メモリ
- スレッド
- ソケット
- ファイル記述子

処　置　他のアプリケーションを停止した後、開始してください。開始できる場合があります。

インストールするアプリケーションのファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原　因　指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。

処　置　ファイルのパスを正確に指定してください。

インストールするライセンスのファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原　因　指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。

処　置　ファイルのパスを正確に指定してください。

インストールするアプリケーションのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原　因　アプリケーションとして指定したファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。

処　置　このアプリケーションファイルはインストールできません。ファイルを確認してください。ファイルに問題がない場合は、アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

インストールするライセンスのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原　因　アプリケーションとして指定したファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。

処　置　このライセンスファイルはインストールできません。ファイルを確認してください。ファイルに問題がない場合は、アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

指定したアプリケーションとライセンスが対応していないため、インストールできません。ライセンスファイルのパスを指定しなおしてください。

原　因　指定されたライセンスファイルが、指定されたアプリケーションに対応していないので、アプリケーションのインストールを行うことができません。

処　置　アプリケーションファイルに対応するライセンスファイルを指定してください。

指定されたファイルはシステムアプリケーションではありません。ファイルを確認してください。

原　因　指定されたファイルはシステムアプリケーションではありません。この［拡張システムアプリケーション］ページからインストールすることはできません。

処　置　［インストール］ページからインストールしてください。

指定されたライセンスは、すでにインストールされています。

原　因　一度インストールされたライセンスファイルを、再びインストールすることはできません。指定されたライセンスファイルはすでに一度インストールされています。

処　置　指定されたライセンスファイルはインストールできませんので、他のファイルを指定してください。

指定されたアプリケーションをインストールするには、同時にライセンスファイルをインストールする必要があります。ライセンスファイルを指定してください。

原　因　アプリケーションに対応したライセンスファイルを同時に指定しなければ、インストールできません。

処　置　アプリケーションファイルを指定するとともに、アプリケーションに対応するライセンスファイルを指定してインストールしてください。

指定されたアプリケーション内の以下の情報が正しくありません。ファイルを確認してください。< 不正確な情報 >

原因 1　アプリケーションファイル内の<不正確な情報>を正しい情報として認識することができません。

処　置　アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

原因 2　<不正確な情報>が MEAP Specifications の場合、アプリケーションが持つ MEAP Specifications の値とプリンタ側の値が一致していません。

処　置　お買い求めの販売店にお問い合わせください。

指定されたアプリケーションのファイルに、以下の情報が不足しています。ファイルを確認してください。< 足りない情報 >

原　因　アプリケーションに必須の情報がアプリケーションファイルに含まれていないため、インストールすることができません。

処　置　ファイルを確認してください。ファイルに問題がない場合は、<足りない情報>がないかアプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口へお問い合わせください。

指定されたライセンスは、このデバイスには対応していません。インストール可能なライセンスを指定してください。

原　因　ライセンスファイルには、インストールできるシリアルナンバー情報が含まれています。指定されたライセンスファイルにはこのシリアルナンバー情報がないため、インストールできません。

処　置　シリアルナンバーに合致したライセンスファイルを指定してください。

指定されたアプリケーションは、このデバイスをサポートしていません。

原　因　アプリケーションファイルによっては、インストールできるプリンタの機種が決められています。この機種にはインストールできません。

処　置　プリンタの機種に対応しているアプリケーションを指定してください。

指定されたファイルは、アップデートファイルです。アップデートするシステムアプリケーションを停止してから、インストールしてください。

原　因　指定されたアプリケーションファイルは、すでにインストールされているアプリケーションをアップデートするファイルです。アップデートするためには、アップデート対象のアプリケーションを停止する必要があります。

処　置　アップデート対象のアプリケーションを停止してから、アプリケーションのアップデートを行ってください。

ストレージの容量を超えるため、アプリケーションをインストールできません。他のアプリケーションをアンインストールしてからインストールしなおしてください。

原　因　ストレージがいっぱいでアプリケーションがインストールできません。

処　置　使用していないアプリケーションをアンインストールしてストレージの空き領域を確保してください。

インストールをキャンセルできませんでした。インストールは正常に終了しました。

原　因　インストール動作がキャンセルできない状態にあるときに、キャンセルボタンが押されました。インストールが正常に終了しました。

処　置　アンインストールしてください。

指定したアプリケーションが見つかりません。他のユーザによってアンインストールされた可能性があります。

原　因　指定したアプリケーションは、すでにアンインストールされています。

処　置　必要に応じて、アプリケーションを再インストールしてください。

エラー発生：< エラーの内容 >

原　因　何らかの原因でエラーが発生しました。詳しくは、＜エラーの内容＞を参照してください。

処　置　＜エラーの内容＞から対処法が不明な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

［ユーティリティ］ページに関するエラー

指定したファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。パスを指定しなおしてください。

原　因　指定したパスにファイルが存在しないか、ファイルのパスが正しくありません。

処　置　ファイルのパスを正確に指定してください。

指定されたファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。

原因１　ファイルの内容が正しくありません。（ライセンスファイル以外のファイルが指定されました。）

処　置　指定されたファイルがライセンスファイルであるかご確認ください。

原因２　ファイルの情報が不足しています。

処　置　アプリケーション開発元、またはアプリケーションサポート窓口にお問い合わせください。

指定されたライセンスは、すでにインストールされています。インストール済みのライセンス情報は表示できません。

原　因　すでにプリンタにインストールされたことのあるライセンスファイルの情報を表示することはできません。

処　置　別のライセンスファイルを指定してください。

エラー発生：< エラーの内容 >

原　因　何らかの原因でエラーが発生しました。詳しくは、<エラーの内容>を参照してください。

処　置　<エラーの内容> から対処法が不明な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

現在のパスワードが間違っています。

原　因　現在のパスワードとして入力された文字列が現在のパスワードと異なります。

処　置　正しい現在のパスワードを入力してください。

新しいパスワードが正しくありません。パスワードは半角の 8 文字以上の英数字で入力してください。

原　因　新しいパスワードが 8 文字未満です。パスワードとして使用してはいけない文字が使用されました。

処　置　半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）で 8 文字以上の新しいパスワードを入力してください。

新しいパスワードと確認入力が一致しません。

原　因　新しいパスワードと確認用パスワードが一致しないのでパスワードの変更が行えません。

処　置　新しいパスワードと同じ文字列を確認用パスワードとして入力してください。

その他のトラブル

インテリジェントコントローラ取り付け時の動作確認で、インテリジェントコントローラのランプがすべて消灯していたり、ERR ランプがいつまでたっても消灯せず、点灯や点滅し続けているときは、次のように対処してください。

メモ
- インテリジェントコントローラがネットワークに正しく接続されて正常に動作しているときは、電源オンから数秒間 ERR ランプが点灯したあと、消灯します。
- ネットワーク環境で使用して印刷するときのトラブルについては、「ネットワークガイド／本編」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

インテリジェントコントローラのランプがすべて消灯している

原因 1 LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している

処置 1 LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。

処置 2 他の LAN ケーブルに交換し、接続しなおします。

原因 2 ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している

処置 1 ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。

処置 2 ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。

原因 3 クロスタイプの LAN ケーブルを使っている

処置 1 ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。

処置 2 クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。

メモ クロスタイプの LAN ケーブルとは、プリンタとコンピュータを直接接続する場合に使用するケーブルのことです。

原因 4 ハブと通信できない

処置 1 ハブの電源がオンになっていることを確認します。

処置 2 接続したハブの通信速度に合わせてインテリジェントコントローラのディップスイッチを設定します。（→ インテリジェントコントローラを設定する：P.6-19）

処置 3 ハブを交換します。

原因５ インテリジェントコントローラが正しく取り付けられていない

処　置 インテリジェントコントローラを一度取り外し、取り付けなおします。

原因６ インテリジェントコントローラのハードウェアに異常がある

処　置 お買い求めの販売店に状況を連絡してください。

インテリジェントコントローラの ERR ランプが点灯し続けている

原　因 ネットワークケーブルの接続不良や断線、あるいはインテリジェントコントローラが正しく取り付けられていない

処置１ ネットワークケーブルが正しく取り付けられているか確認してください。

処置２ ネットワークケーブルを正常に使えるものと交換し、断線や破損がないか確認してください。

処置３ 上記の操作を行っても ERR ランプが点灯するときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

インテリジェントコントローラの ERR ランプが４回ずつ点滅している

原　因 インテリジェントコントローラのディップスイッチ 1 がオンになっている

処　置 一度ディップスイッチ 1 をオフにしてください。

インテリジェントコントローラの ERR ランプが点滅し続けている

原因１ ファイルシステムにエラーが発生している。

処　置 インテリジェントコントローラの初期化をしてください。(→ インテリジェントコントローラの初期化：P.7-7)

原因２ インテリジェントコントローラのハードウェアに異常がある

処　置 お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

インテリジェントコントローラの設定項目を確認したいときは（拡張カードリストを印刷する）

インテリジェントコントローラのバージョンや設定が確認できる拡張カードリストの機能が用意されています。ネットワーク環境の設定が終了したあと、インテリジェントコントローラの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。拡張カードリストの印刷は、プリンタの操作パネルで行うことができます。

メモ　拡張カードリストは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。

1 **プリンタがオンライン状態になっていることを確認します。**

オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2 **［ユーティリティ］を押して、［◄］、［►］で「カクチョウカードリスト」を選択します。**

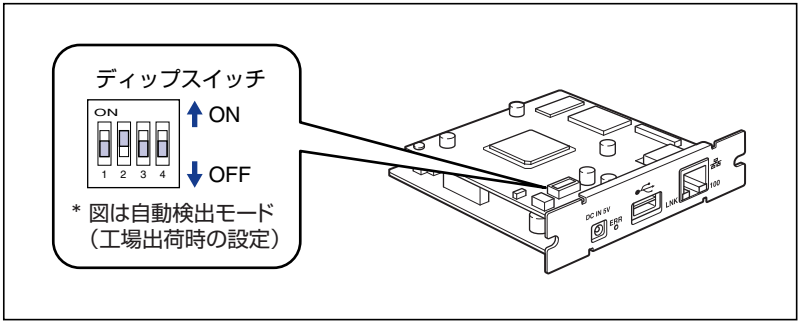
3 **［OK］を押します。**

拡張カードリストが印刷されます。

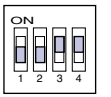
インテリジェントコントローラを設定する

インテリジェントコントローラは、工場出荷状態では「自動検出モード」に設定されています。10BASE-T/100BASE-TX の通信速度や転送モードは自動的に検出されるので、通常は設定を変更する必要はありません。ネットワーク側の機器とうまく通信できないときは、インテリジェントコントローラのディップスイッチを設定してください。ディップスイッチの設定は、プリンタの電源をオフにしてインテリジェントコントローラを取り外してから行います。インテリジェントコントローラの取り外しの作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。接続したネットワークの通信速度に合わせて、ディップスイッチを次のように設定してください。

重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。



■ ネットワークの通信速度／転送モードとディップスイッチの設定

LANの通信速度／転送モード	ディップスイッチの設定
自動検出モード （工場出荷時の設定）	↑ON ↓OFF
10BASE-T／半二重モード に固定する場合	↑ON ↓OFF
10BASE-T／全二重モード に固定する場合	↑ON ↓OFF
100BASE-TX／半二重モード に固定する場合	↑ON ↓OFF
100BASE-TX／全二重モード に固定する場合	 ↑ON ↓OFF

1 プリンタの電源をオフにしたあと、LAN ケーブルやプリンタの電源コード、アース線を取り外します。

⚠注意
- プリンタを移動するときは、プリンタに付属の取扱説明書の指示に従い、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に、給紙カセットなど、取っ手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損したり、落下してけがをする恐れがあります。

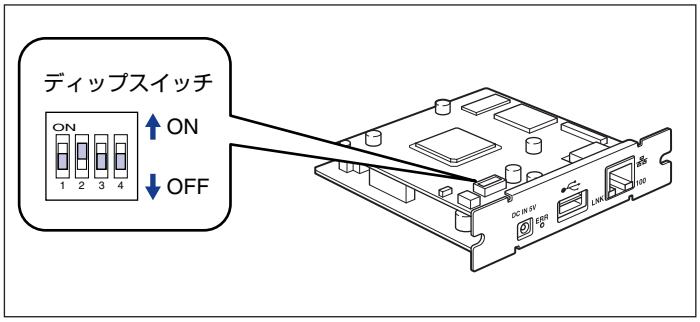
重要
- インタフェースケーブルが取り付けられているときは、インタフェースケーブルも取り外します。
- インテリジェントコントローラの抜き差しは、必ず電源をオフにした状態で行ってください。電源をオンにしたままで基板を抜き差しすると、インテリジェントコントローラやプリンタを破損する恐れがあります。
- 作業に十分なスペースがない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動させてください。（→ プリンタに付属の取扱説明書）
- オプション品が装備されているときは、オプション品を取り外してください。（→ プリンタまたはオプション品に付属の取扱説明書）

2 インテリジェントコントローラの固定ネジ（2 本）を外します。

3 インテリジェントコントローラを引き抜きます。

4 ディップスイッチを設定します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。設定方法は P.6-20 の表を参照してください。



重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

5 インテリジェントコントローラを拡張ボードスロットに差し込みます。

インテリジェントコントローラは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要
- 基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- インテリジェントコントローラのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

6 インテリジェントコントローラの両端を、付属の 2 本のネジで固定します。

7 LAN ケーブルや電源コード、アース線を接続します。

付録

7
CHAPTER

この章では、ネットワーク設定項目一覧やインテリジェントコントローラのおもな仕様などについて説明しています。

インテリジェントコントローラの取り外し 7-2
ネットワーク設定項目一覧 7-4
ネットワーク設定に利用できるソフトウェア 7-5
ネットワーク設定の初期化 7-6
インテリジェントコントローラの初期化 7-7
ファームウェアを更新する 7-10
FTP サーバを設定する 7-14
主な仕様 7-15
ハードウェア仕様 7-15
ソフトウェア仕様 7-15
用語集 7-16
索引 7-19
ソフトウェアのバージョンアップについて 7-21
情報の入手方法 7-21
ソフトウェアの入手方法 7-21

インテリジェントコントローラの取り外し

インテリジェントコントローラの取り外しは、次の手順で行います。インテリジェントコントローラの取り付けで取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

⚠注意
- 必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- インテリジェントコントローラの取り扱いには注意してください。インテリジェントコントローラの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

1 優先ネットワークを「標準ネットワーク」に設定します。

重要 優先ネットワークを「NB-J2」に設定した状態で、インテリジェントコントローラをプリンタから取り外すと、優先ネットワークは「NB-J2」に設定されたままになっているため、プリンタに標準の LAN コネクタが使用できなくなります。インテリジェントコントローラをプリンタから取り外す場合は、あらかじめ優先ネットワークを「標準ネットワーク」に設定してから取り外してください。優先ネットワークの設定方法は、「優先ネットワークを NB-J2 に設定する」（→P.3-16）を参照してください。

2 プリンタの電源をオフにしたあと、LAN ケーブルやプリンタの電源コード、アース線を取り外します。

⚠注意
- プリンタを移動するときは、プリンタに付属の取扱説明書の指示に従い、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に、給紙カセットなど、取っ手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損したり、落下してけがをする恐れがあります。

重要
- インタフェースケーブルが取り付けられているときは、インタフェースケーブルも取り外します。
- インテリジェントコントローラの抜き差しは、必ず電源をオフにした状態で行ってください。電源をオンにしたままで基板を抜き差しすると、インテリジェントコントローラやプリンタを破損する恐れがあります。
- 作業に十分なスペースがない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動させてください。（→ プリンタに付属の取扱説明書）
- オプション品が装備されているときは、オプション品を取り外してください。（→ プリンタまたはオプション品に付属の取扱説明書）

3 インテリジェントコントローラの固定ネジ（2 本）を外します。

4 インテリジェントコントローラを引き抜きます。

5 拡張ボードスロットの保護板を取り付けたあと、ネジで固定します。

重要 取り外したインテリジェントコントローラは、必ず保管しておいた保護袋に入れてください。

ネットワーク設定項目一覧

Web ブラウザ（リモート UI)、プリンタの操作パネルを使用すると、本製品の設定を変更することができます。変更できる設定項目は以下のものになります。

メモ　以下の一覧以外のネットワークの設定項目については、プリンタに付属の「ネットワークガイド／本編」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

■ 一般設定

項目名	内容	工場出荷時の設定	リモート UI による設定	操作パネルによる設定
優先ネットワーク設定	インテリジェントコントローラを使用できるように設定する	標準ネットワーク	○	○
FTP サーバ	インテリジェントコントローラの FTP サーバを使用するかどうか	オン	○	○
ポート番号	インテリジェントコントローラの FTP サーバのポート番号（1024～49151）	8021	○	○

ネットワーク設定に利用できるソフトウェア

ネットワーク設定は、以下を使用して行うことができます。

○：設定可能　　×：設定不可

設定の種類	Web ブラウザ（リモート UI）	ARP/PING コマンド	プリンタの操作パネル
IP アドレスの設定（→P.3-3）	○	○	○
優先ネットワーク設定（→P.3-16）	○	×	○
拡張カードネットワーク設定（→P.3-13）	○	×	○
FTP 設定（→P.7-14）	○	×	○
カード設定の初期化（→P.7-6）	○	×	○
ファームウェアの更新（→P.7-10）	○	×	×
「標準ネットワーク」との共有設定 *	○	×	○

*　詳細については、プリンタに付属の「ネットワークガイド／本編」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

ネットワーク設定の初期化

ネットワークの設定は 2 種類有り、それぞれ初期化の方法が異なります。

■ カード設定の初期化

インテリジェントコントローラの IP アドレスやサブネットマスクなどの設定（リモート UI の場合、[デバイス設定] → [拡張カード] をクリックすると表示される設定）の初期化は、以下の方法で行います。

リモート UI	1. 左側の [デバイス設定] をクリックして、[拡張カード] → [NB-J2] → [カード設定] → [ユーティリティ] → [初期化メニュー] の順にクリックします。 2. [カード設定の初期化] を選択して [OK] をクリックします。
プリンタの操作パネル	1. [セットアップ] を押して、以下の項目を順に [◄]、[►] で選択したあと、[OK] を押します。 「インタフェース」→「カクチョウカード」→「NB-J2」→「カードセッテイ」→「ユーティリティ」→「ショキカメニュー」 2. [◄]、[►] で「カードセッテイショキカ」を選択して、[OK] を押します。

■「標準ネットワーク」との共有設定の初期化

RAW 印刷や IP アドレス制限等の設定（リモート UI の場合、[デバイス管理] → [情報] や [デバイス管理] → [ネットワーク] をクリックすると表示される設定）の初期化は、以下の方法で行います。

リモート UI	左側の [デバイス管理] をクリックして、[ネットワーク] → [ネットワーク設定一覧] → [ネットワーク設定の初期化] の順にクリックします。
プリンタの操作パネル	[セットアップ] を押して、以下の項目を順に [◄]、[►] で選択したあと、[OK] を押します。 「インタフェース」→「ヒョウジュンネットワーク」→「ネットワークセッテイショキカ」

インテリジェントコントローラの初期化

インテリジェントコントローラを初期化したいときは、次の手順でインテリジェントコントローラのディップスイッチを切り換えます。ディップスイッチを操作して、インテリジェントコントローラを初期化した場合、ネットワークの設定値が工場出荷時の値に戻され、インテリジェントコントローラのファイルシステムがフォーマットされます。次の作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

重要

- ディップスイッチを操作して、インテリジェントコントローラを初期化した場合、インテリジェントコントローラのファイルシステムがフォーマットされ、インストールされているアプリケーションやライセンスファイル、アプリケーションから作られたファイルシステム内に保存されているデータが削除されます。また、SMS のログインパスワードも工場出荷時のパスワードに戻ります。ネットワークの設定値のみを工場出荷時の値に戻したいときは、プリンタの操作パネル、Web ブラウザ（リモート UI）のいずれかの方法で行ってください。（→ ネットワーク設定の初期化：P.7-6）
- インテリジェントコントローラの初期化中はファイルシステムのフォーマットを行うため、プリンタの電源を絶対にオフにしないでください。また、初期化を実行したあと、最初のプリンタ再起動後の 2 分間は電源を絶対にオフにしないでください。
電源をオフにしてしまった場合は、再度初期化を行い、ファイルシステムをフォーマットする必要があります。

メモ

インテリジェントコントローラの初期化を行うと、ファイルシステムをフォーマットするため MEAP-Lite プラットフォームのストレージ（データ記憶装置）領域は全て消去され、工場出荷時の状態に戻されます。製品の廃棄時やアプリケーションのデータを全て消去したい場合に、本機能を使用してください。ただし、アプリケーションのライセンス履歴情報はフォーマットしても消去されません。

1 プリンタの電源をオフにしたあと、LAN ケーブルやプリンタの電源コード、アース線を取り外します。

注意

- プリンタを移動するときは、プリンタに付属の取扱説明書の指示に従い、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に、給紙カセットなど、取っ手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損したり、落下してけがをする恐れがあります。

重要

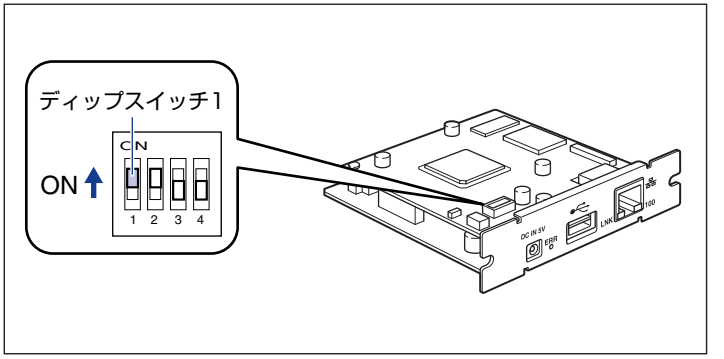
- インタフェースケーブルが取り付けられているときは、インタフェースケーブルも取り外します。
- インテリジェントコントローラの抜き差しは、必ず電源をオフにした状態で行ってください。電源をオンにしたままで基板を抜き差しすると、インテリジェントコントローラやプリンタを破損する恐れがあります。
- 作業に十分なスペースがない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動させてください。（→ プリンタに付属の取扱説明書）
- オプション品が装備されているときは、オプション品を取り外してください。（→ プリンタまたはオプション品に付属の取扱説明書）

2 インテリジェントコントローラの固定ネジ（2 本）を外します。

3 インテリジェントコントローラを引き抜きます。

4 ディップスイッチ 1 をオン側に切り替えます。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。



重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

5 インテリジェントコントローラを拡張ボードスロットに差し込みます。

インテリジェントコントローラは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要
- 基板の部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- インテリジェントコントローラのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

6 インテリジェントコントローラの両端を、付属の 2 本のネジで固定します。

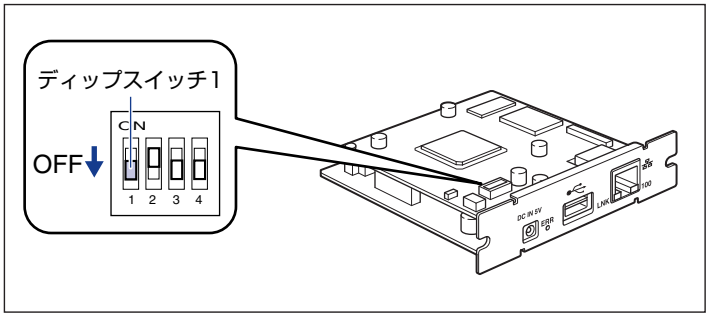
7 電源コード、アース線を接続します。

8 電源をオンにして、ERR ランプが点滅から 4 回ずつ点滅に変わるまで待ってから、電源をオフにします。

9 電源コード、アース線を取り外します。

10 インテリジェントコントローラを取り外し、ディップスイッチ1をオフ側に戻します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。



重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

11 インテリジェントコントローラを取り付けます。

12 LAN ケーブルや電源コード、アース線を接続します。

ファームウェアを更新する

ファームウェアの更新は、アップデートファイルを指定し、インテリジェントコントローラのファームウェアをアップデートします。

重要
- 正常にファームウェアを更新できなかった場合やファームウェアの更新についての詳細は、ファームウェアに添付の README ファイルを参照してください。
- ファームウェアの更新は、プリンタが動作していないことを確認して行ってください。また、ファームウェアの更新中は印刷を行わないでください。正常にファームウェアが更新されません。
- ファームウェアの更新中は、アプリケーションは自動的に停止状態になります。

メモ
- ファームウェアの更新によって、アプリケーションのデータやライセンスファイルなどが消去されることはありません。
- ファームウェアの更新は、管理者モードのみ実行可能です。

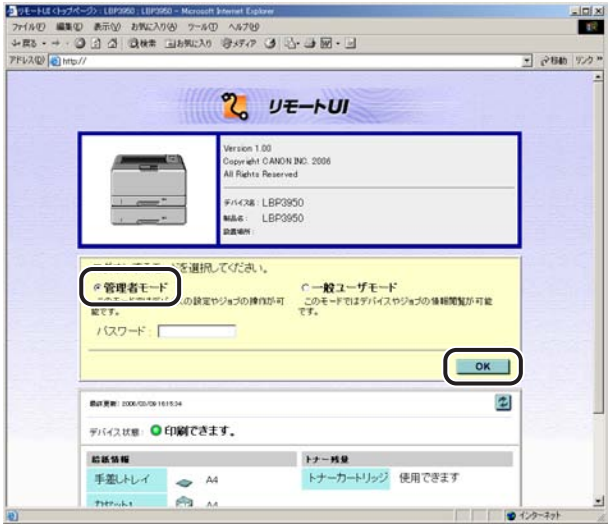
1 Web ブラウザを起動して、[場所] または [アドレス] に以下の URL を入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。

http:// <プリンタ（インテリジェントコントローラ）の IP アドレスまたは名前> /

入力例：http://192.168.0.215/

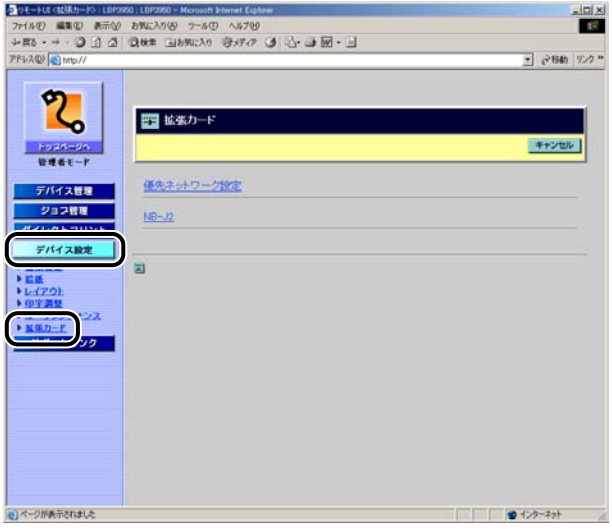
メモ　リモート UI の詳しい説明については、プリンタに付属の「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

2 [管理者モード] を選択したあと、[OK] をクリックします。

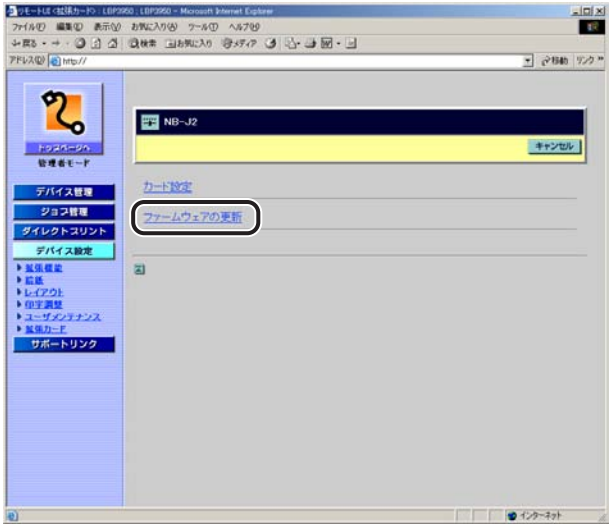


メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、[OK] をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

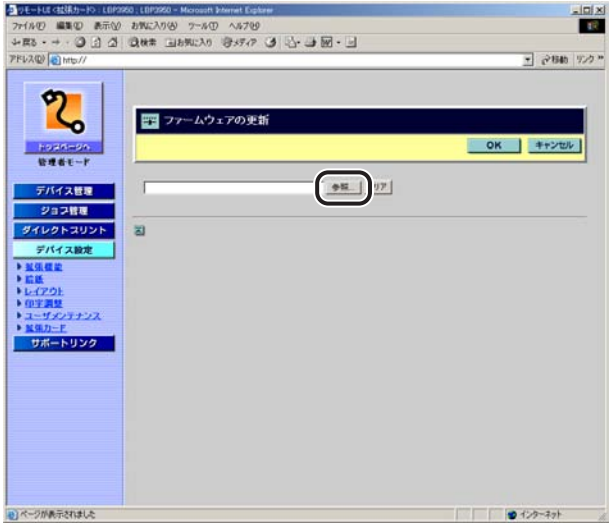
3 左側の [デバイス設定] をクリックして、[拡張カード] をクリックします。



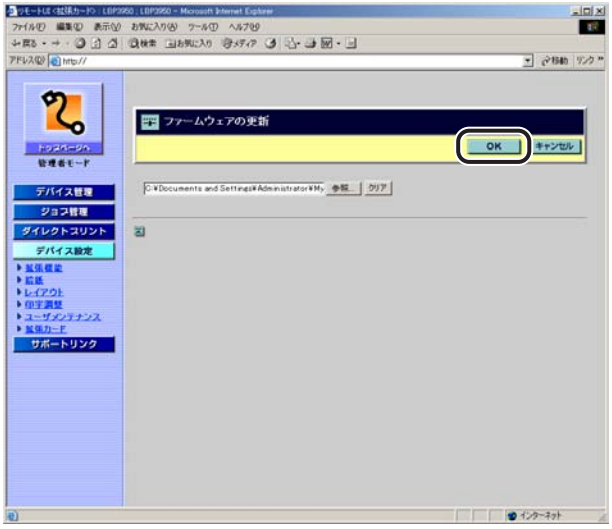
4 [NB-J2] → [ファームウェアの更新] の順にクリックします。



5 [参照] をクリックしてファイルを選択するか、パスを入力します。



6 [OK] をクリックします。



7 ファームウェアの更新後、自動的にプリンタが再起動しない場合は、ハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

メモ ハードリセットは、左側の［デバイス管理］のメニューから［状態］をクリックしたあと、［デバイス制御］をクリックします。［デバイス制御］ページで［ハードリセット］を選択したあと、［実行］をクリックします。

FTP サーバを設定する

インテリジェントコントローラ内のFTPサーバを使用するかどうかやFTPサーバのポート番号を設定することができます。FTP サーバの設定は、以下の方法で行います。

リモート UI	1. 左側の［デバイス設定］をクリックして、［拡張カード］→［NB-J2］→［カード設定］→［FTP 設定］の順にクリックします。 2. ［FTP サーバ］をクリックすると、FTP サーバを使用するかどうかの設定ができます。 3. ［ポート番号］をクリックすると、FTP サーバのポート番号を設定することができます。
プリンタの操作パネル	1. ［セットアップ］を押して、以下の項目を順に［◄］、［►］で選択したあと、［OK］を押します。 「インタフェース」→「カクチョウカード」→「NB-J2」→「カードセッテイ」→「FTP セッテイ」 2. 「FTP サーバ」を選択して［OK］を押すと、FTP サーバを使用するかどうかの設定ができます。 3. 「ポートバンゴウ」を選択して［OK］を押すと、FTPサーバのポート番号を設定することができます。

メモ
- FTPサーバのポート番号の設定範囲は、1024～49151で、工場出荷時は8021に設定されています。
- ここで設定するFTPサーバのポート番号は、コントロール用のポート番号です。データ転送用のポート番号は、コントロール用のポート番号から1を引いた番号になります。たとえば、コントロール用のポート番号が「8021」の場合、データ転送用のポート番号は「8020」になります。

主な仕様

ハードウェア仕様

CPU	Freescale MPC8248 266MHz
ROM	32 MB（フラッシュ ROM）
RAM	64 MB
ネットワークインタフェース	10BASE-T/100BASE-TX 共用（RJ45） 全二重・半二重
プリンタインタフェース	拡張ボード専用インタフェース
USB ホストインタフェース	USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当） ・USB ハブは 1 台のみ接続可能です。 ・USB ハブに接続された周辺機器は最大 4 台までです。 ・ハブを使用するときは、AC アダプタをインテリジェントコントローラに接続するか（ただし、最大 500mA まで）、ハブ側に直接電源を供給してください。
DC 電源	DC5V IN 500mA
ランプ	3 個（ERR、LNK、100）

重要 本製品に USB 機器を接続する場合、本製品の USB ホストインタフェースから USB 機器へ最大 200mA の電流を供給することが可能です。USB 機器を接続する前に、USB 機器に付属の取扱説明書をよくお読みになり、接続する USB 機器がバスパワードデバイス（USB 機器の動作に必要な電力を USB ホストインタフェースから供給されることにより動作する USB 機器）の場合には、USB 機器の消費電流をご確認ください。
接続する USB 機器の消費電流が 200mA 以下の場合、外部電源は必要ありません。200mA 以上の場合には、必ず次のいずれかの方法で電力を確保してください。

・オプションの AC アダプタをインテリジェントコントローラに接続する。オプションの AC アダプタを使用した場合、本製品の USB ホストインタフェースから最大 500mA の電流を供給することができるようになります。

・USB 機器の動作に必要な電力を AC コンセントなどから USB 機器側で確保する。

ソフトウェア仕様

対応プロトコル	TCP/IP
TCP/IP	フレームタイプ：　Ethernet Ⅱ プリントアプリケーション：LPD、FTP、RAW、IPP、BMLinkS

用語集

Cookie

Web サイトにアクセスしたとき、Web サイト側がパソコンに残す情報です。

Cookie は、以前表示した Web ページに再度アクセスしたとき、Web サイト側がユーザを識別するために使用します。Cookie を利用すると、アクセスのたびに入力事項を入力する手間を省くことができます。

Java

米国 Sun Microsystems 社の開発したプログラミング言語です。

機種やOS への依存性が少ないマルチプラットフォーム対応しているのが特徴で、Web サーバ上で稼動するアプリケーションの開発に多く使われています。MEAP-Lite プラットフォームに組み込まれているのは、J2ME (Java2 Micro Edition) と呼ばれる種類の Java 言語です。

JavaScript

米国Netscape Communications社が開発したNetscape NavigatorやInternet Explorer で実行可能なスクリプト言語です。

JavaScript を使うことにより、HTML ファイルのみでボタンをアニメーション化したり、時刻を表示したりといったインタラクティブなページを作ることが可能です。

MEAP-Lite アプリケーション

MEAP -Lite(Multifunctional Embedded Application Platform Lite) 上で稼動するアプリケーションです。

拡張子が「jar」のアプリケーションファイルと「lic」のライセンスファイルから構成されています。

MEAP Specifications

MEAP-Lite システムを利用して動作させることができる、MEAP-Lite 機能のバージョンです。

MEAP-Lite アプリケーションなど、MEAP-Lite システムを利用する機能には、プリンタ機の MEAP Specifications のバージョンによって使用できないものもあります。

URL

Uniform Resource Locator の略。インターネット上の Web ページなどの場所を表記する方法です。

例えば Web ページの URL は「http://www.example.com」のように表記されます。先頭の「http」は、あとに続く文字列がインターネット上の Web ページのアドレスであるということを表します。

アプリケーション ID

アプリケーションに割り当てられる識別子です。

それぞれの MEAP-Lite アプリケーションには ID が割り当てられています。MEAP-Lite システムでは、アプリケーション ID を利用してユーザのアプリケーション使用量を集計します。

サーブレット

Web ブラウザ上にユーザインタフェースを表示するタイプの MEAP-Lite アプリケーションです。

スレッド

プログラムの実行単位です。

複数のプログラムを同時に実行することができるマルチタスクシステムでは、各プログラムに独立したメモリ空間などを割り当てることで、そのプログラムだけが動いているように見せることが可能となります。

プログラムの生成と同時に、最低でも 1 つのスレッドが生成されます。

ソケット

アプリケーションが TCP/IP を扱うときの仮想的なインターフェースです。

アプリケーションはアドレスとポートの組であるソケットを指定して回線をひらくだけで、通信手順の詳細を気にすることなくデータの送受信を行うことができます。

ファイル記述子

プログラムがアクセスするファイルなどを OS が識別するために用いる識別子です。

ファイル記述子には、識別子とともにファイル名、ファイルサイズなどの情報も含まれており、OS は識別子によってどのファイルを操作するかを判断します。

プロキシサーバ

リモートサーバから読み込んだファイルを保存しておく機能を持つサーバです。

Web ページの閲覧が 2 回目以降のときは、リモートサーバにアクセスするのではなく、プロキシサーバに保存されているファイルを読み込むことによってアクセスの効率化をはかります。プロキシサーバはパソコンから URL を受け取ると、キャッシュからファイルを検索してパソコンに送ります。要求されたファイルがキャッシュに保存されていない場合は、リモートサーバにアクセスして取得します。このとき取得したファイルもキャッシュに保存されるため、再度要求があった場合は、ファイルをパソコンにすばやく送ることができます。

プロトコル

ネットワークを介してデータの受け渡しを行う際の手順の規則です。おもな通信プロトコルは以下のとおりです。

- FTP：ファイル転送プロトコル。TCP/IP ネットワーク上にあるクライアントとホストとの間で、ファイルの転送を行うための通信プロトコル、またはそれを実装したコマンドです。
- DHCP：BOOTP の上位互換規格で、TCP/IP ネットワーク上の各クライアントマシンに対して、起動時に動的な IP アドレスを割り当て、終了時に回収する通信プロトコルです。サーバはクライアント用にいくつか用意した IP アドレスを振り分け、セットアップ情報をクライアントに通知します。
- BOOTP：TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンにおいて、IP アドレスやドメイン名などのセットアップ情報をサーバから自動的にロードしてくるための通信プロトコルです。
- RARP：クライアントのネットワークアダプタアドレス（MAC アドレス）から IP アドレス情報を求めるための通信プロトコルです。
- IPP：クライアントとプリントサーバとの間で、インターネットを経由したリモート印刷を行うための通信プロトコルです。
- SSL：Web ブラウザとサーバ間の HTTP 通信を暗号化し、通信の安全性を高めて送受信するための暗号化プロトコルです。
- TCP/IP：インターネットや大規模ネットワークにアクセスするのに必要な、標準的な通信プロトコルです。

ライセンスファイル

MEAP-Lite アプリケーションのライセンスファイルは、ソフトウェアメーカがユーザにソフトウェアの利用を許可するためのファイルです。MEAP-Lite アプリケーションをインストールする際には、ライセンスファイルが必要です。

索引

英数字

100BASE-TX, 2-3
100 ランプ , 2-4
10BASE-T, 2-3
CA 証明書を登録・表示・検証する , 5-39
DC ジャック , 2-4
ERR ランプ , 2-4
FTP サーバを設定する , 7-14
HTTPS ポート , 5-49
HTTP ポート , 5-49
IP アドレスの設定
    ARP/PING コマンドによる設定 , 3-10
    プリンタの操作パネルによる設定 , 3-9
    リモート UI による設定 , 3-4
LAN コネクタ , 2-4
LNK ランプ , 2-4
SMS, 1-2, 1-5
    ログアウト , 3-25
    ログイン , 3-21
SSL 暗号化通信機能 , 5-16
USB ホストコネクタ , 2-4
Web ブラウザ , 1-3

あ

アプリケーション , 5-12
    アンインストール , 4-10
    インストール , 4-2
    開始 , 4-6
    詳細を確認／設定する , 4-12
    情報の確認 , 5-12
    停止 , 4-6
    ライセンス設定 , 4-14
アプリケーション ID, 4-6
アプリケーション一覧ページ , 1-3
アプリケーション / ライセンスの情報ページ , 4-15
アプリケーションリストを印刷する , 4-26
インストール済み , 4-7
インストールページ , 1-3
インテリジェントコントローラ
    各部の名称と機能 , 2-4
    初期化 , 7-7
    設定 , 6-19
    設定項目の確認 , 6-18
    取り付け , 2-5
    取り外し , 7-2
    パッケージの内容を確認 , 2-2
エラーメッセージ一覧 , 6-2
主な仕様
    ソフトウェア仕様 , 7-15
    ハードウェア仕様 , 7-15

か

開始 , 4-7
鍵と証明書を作成・登録・変更する , 5-18
拡張カードリスト , 6-18
拡張システムアプリケーション , 5-8
各部の名称と機能 , 2-4
ケーブルを用意する , 2-3

さ

システムアプリケーション , 5-2
　　アンインストール , 5-2
　　インストール , 5-8
　　開始 , 5-4
　　停止 , 5-4
システム管理ページ , 1-3
システム情報の確認 , 5-11
失効 , 4-7
状態 , 4-6
ソフトウェア仕様 , 7-15

た

通信速度 , 6-20
停止 , 4-7
ディップスイッチの設定 , 6-20
テストページを印刷する , 3-20
転送モード , 6-20

な

ネットワーク設定項目一覧 , 7-4
ネットワーク設定に利用できるソフトウェア , 7-5
ネットワーク設定の初期化 , 7-6
ネットワークで使用するために必要な作業 , 1-6
ネットワークの設定 , 3-13

は

ハードウェア仕様 , 7-15
パスワードの変更 , 5-14
必要なシステム環境 , 1-5
ファームウェアを更新する , 7-10
フェライトコア , 2-7
プリンタ接続コネクタ , 2-4

ま

未インストール , 4-7

や

優先ネットワークを NB-J2 に設定する
　　プリンタの操作パネルによる設定 , 3-19
　　リモート UI による設定 , 3-16
ユーティリティ , 5-13

ら

ライセンスファイル , 4-2
　　確認 , 5-13
ログアウト , 3-25
ログインページ , 3-21

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードサービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間] <平日> 9:00～20:00 <土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

USRM1-0044 (00)

© CANON INC. 2006